

## 令和3年度第3回神奈川県感染症対策協議会 次第

日時 令和3年7月2日（金）  
18時30分～20時30分  
会場 県庁西庁舎6階 災害対策本部室  
（原則ZOOM出席とする）

### 1 報告事項

- ・新型コロナウイルス感染症の患者発生状況について
- ・高齢者・障害児者施設等の従事者に対するPCR検査
- ・東京2020大会における新型コロナウイルス感染症対策について

### 2 議題

- ・今後の積極的疫学調査のあり方について
- ・抗原検査キットの活用について

### 3 その他

#### <資料>

- 資料1 新型コロナウイルスに係る現在の状況について
- 資料2 高齢者施設・障害児者施設等の従事者に対するPCR検査事業
- 資料3 東京2020大会における神奈川モデルの運用について
- 資料4 神奈川県宿泊療養施設における $\delta$ 型SARS-CoV-2によるクラスター発生調査報告（資料配付なし）
- 資料5 抗原検査キットを活用した新たな感染拡大抑制策の検討

神奈川県感染症対策協議会 委員等名簿

(五十音順)

NO	区分	氏名	所属団体・機関及び職名	備考
1	学識経験者	市川 和広	神奈川県議会厚生常任委員会 委員長	
2		岩澤 聡子	防衛医科大学校医学教育部衛生学公衆衛生学講座 講師	
3		小倉 高志	神奈川県立循環器呼吸器病センター 副院長兼呼吸器内科部長	副会長
4		小松 幹一郎	公益社団法人神奈川県病院協会 副会長	
5		笹生 正人	公益社団法人神奈川県医師会 理事	
6		立川 夏夫	横浜市立市民病院感染症内科長	
7		畠山 卓也	神奈川新聞社 総務局人事労務部部長	欠席
8		森 雅亮	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 生涯免疫難病学講座 教授	会長
9		山岸 拓也	国立感染症研究所薬剤耐性研究センター第四室室長	
10	関係行政機関	阿南 弥生子	藤沢市保健所長	
11		江原 桂子	神奈川県都市衛生行政協議会代表 三浦市保健福祉部健康づくり課長	
12		倉重 成歩	神奈川県町村保健衛生連絡協議会代表 二宮町健康福祉部子育て・健康課長	
13		猿田 克年	横浜検疫所長	代理出席 検疫衛生課長 梅田 恭子
14		鈴木 仁一	相模原市保健所長	
15		土田 賢一	横須賀市保健所長	
16		中沢 明紀	茅ヶ崎市保健所長	
17		船山 和志	横浜市健康福祉局健康安全部健康危機管理担当部長	
18	吉岩 宏樹	川崎市健康福祉局保健所副所長		
19	会長招集者	大石 貴幸	神奈川県済生会横浜市東部病院 TQMセンター 感染管理対策室 副室長	
20		小笠原 美由紀	公益社団法人神奈川県歯科医師会 副会長	
21		加藤 馨	一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会 会長	
22		國島 広之	聖マリアンナ医科大学 感染症学講座 教授	
23		習田 由美子	厚生労働省医政局看護課 看護サービス推進室長	
24		長場 直子	公益社団法人神奈川県看護協会 専務理事	
25		橋本 真也	公益社団法人神奈川県薬剤師会 副会長	
26		堀岡 伸彦	厚生労働省医政局経済課 医療機器政策室長	
27		安江 直人	横浜市消防局救急部長	
28		吉川 伸治	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 理事長	代理出席 副理事長 山下 純正

## ○神奈川県

NO	氏名	職名
1	黒岩 祐治	知事
2	武井 政二	副知事
3	小板橋 聡士	副知事
4	首藤 健治	副知事
5	前田 光哉	特定課題担当理事
6	山田 健司	健康医療局長兼未病担当局長
7	阿南 英明	医療危機対策統括官兼理事
8	畑中 洋亮	医療危機対策統括官兼政策局顧問
9	篠原 仙一	医療危機対策本部室長



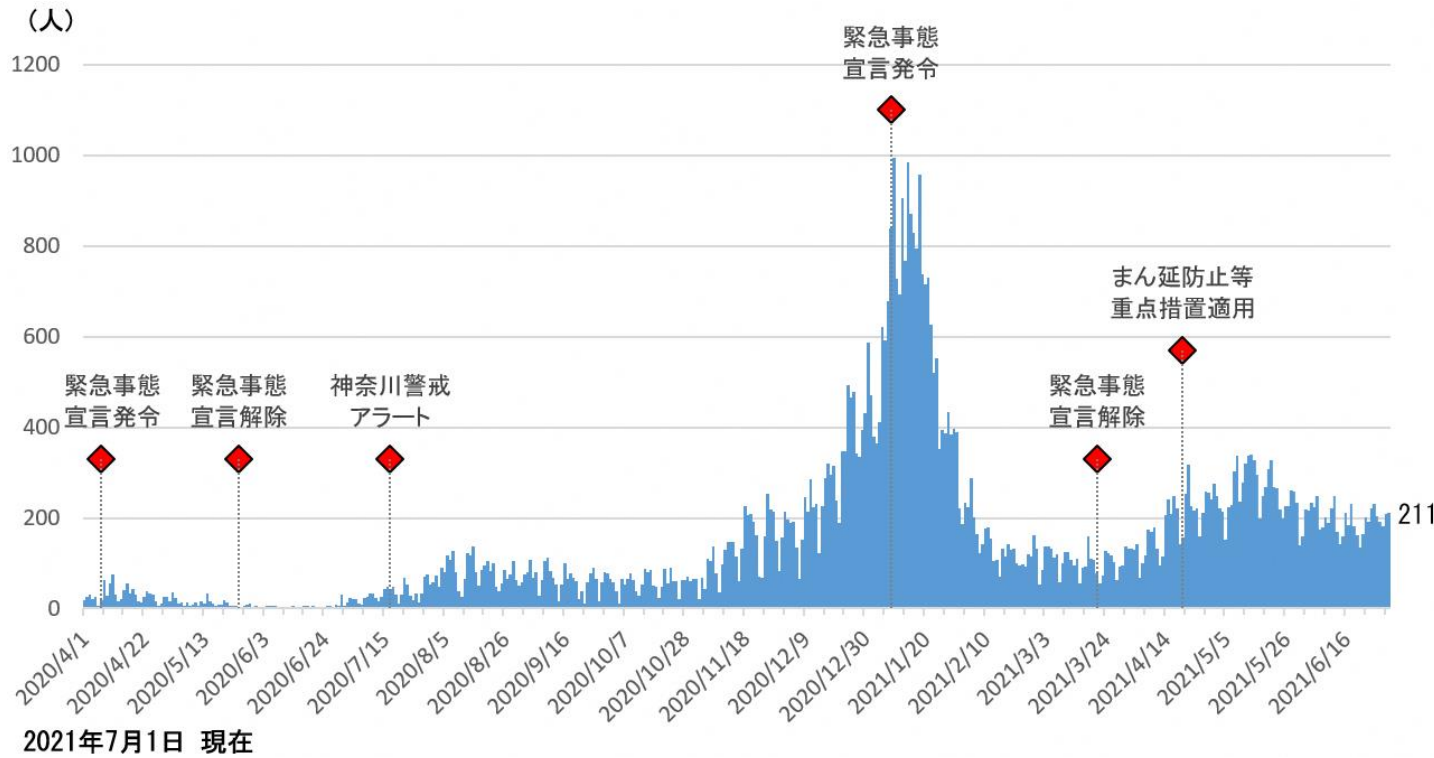
# 新型コロナウイルスに係る現在の状況について ＜7月1日までのデータを反映＞

令和3年7月2日

健康医療局医療危機対策本部室

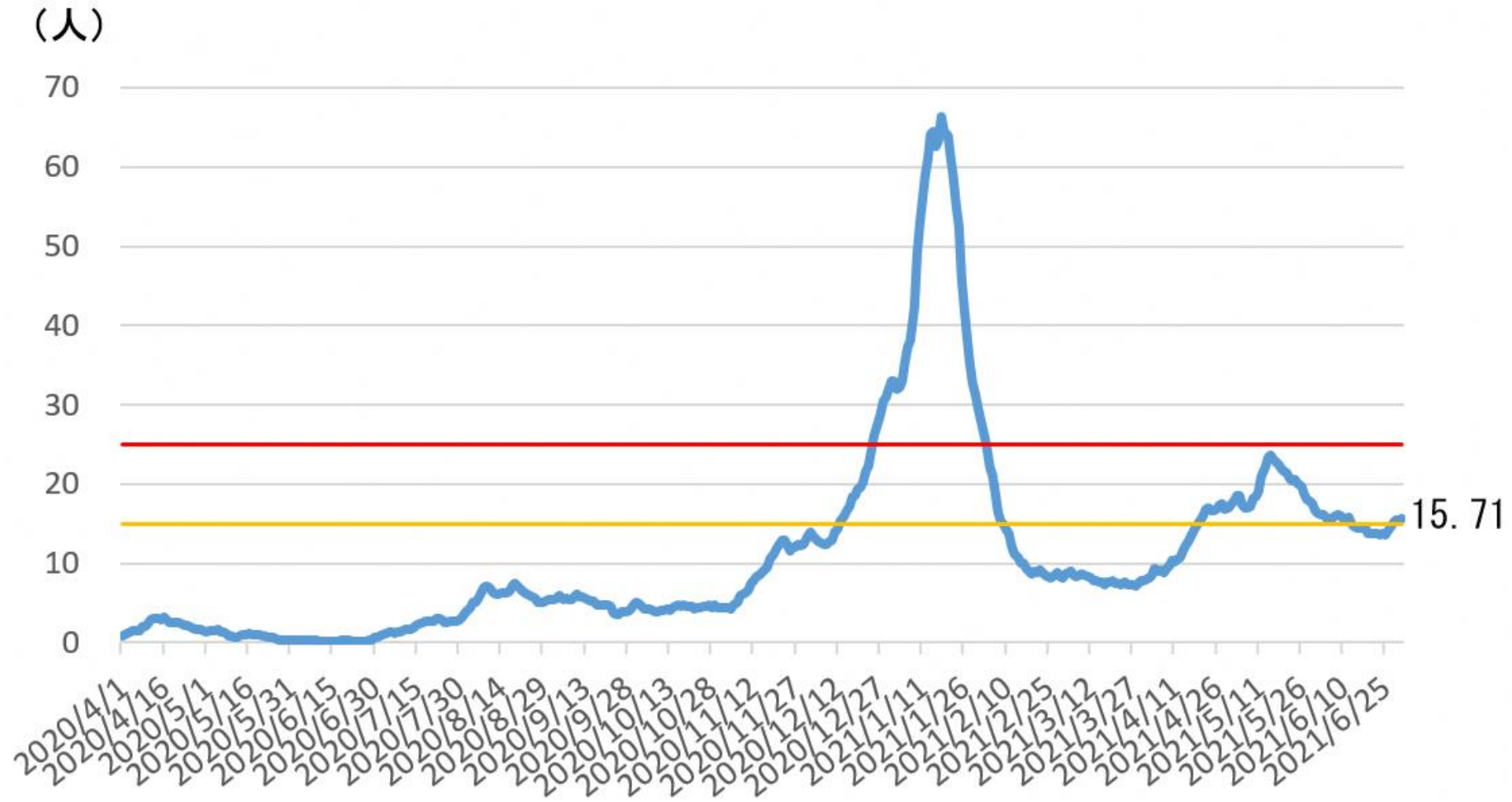


# 新規感染者の推移（実数・日別）・感染者カレンダー



	日	月	火	水	木	金	土	
5月	2	3	4	5	6	7	8	週合計
	247人	222人	214人	151人	224人	229人	303人	1590人
	9	10	11	12	13	14	15	週合計
	338人	237人	277人	319人	337人	339人	328人	2175人
	16	17	18	19	20	21	22	週合計
296人	199人	248人	269人	308人	327人	268人	1915人	
23	24	25	26	27	28	29	週合計	
266人	218人	200人	225人	227人	260人	258人	1654人	
30	31	6/1	2	3	4	5	週合計	
233人	139人	159人	218人	215人	234人	224人	1422人	
6月	6	7	8	9	10	11	12	週合計
	249人	173人	179人	201人	189人	220人	247人	1458人
	13	14	15	16	17	18	19	週合計
	170人	141人	160人	210人	184人	231人	181人	1277人
	20	21	22	23	24	25	26	週合計
162人	135人	163人	201人	192人	221人	231人	1305人	
27	28	29	30	7/1	2	3		
203人	192人	181人	209人	211人				

# 新規感染者の推移(人口10万人当たり・週合計)

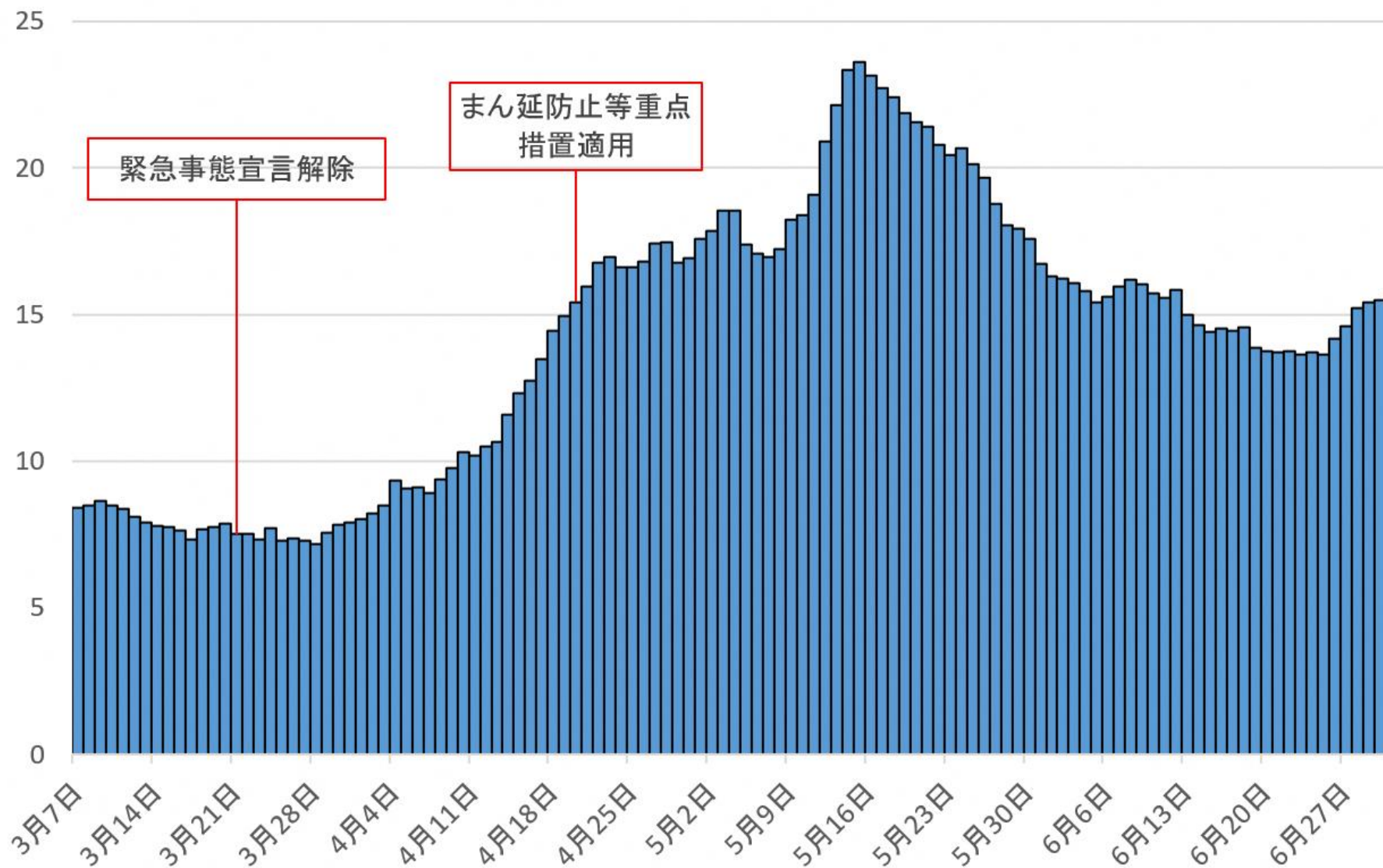


2021年7月1日 現在

※各日における週合計の感染者数を人口10万人当りに換算

※県のステージ判断指標におけるステージIV移行の基準値として、25人（/週）以上であることを設定している。

# 新規感染者の推移（人口10万人当たり・週合計）②



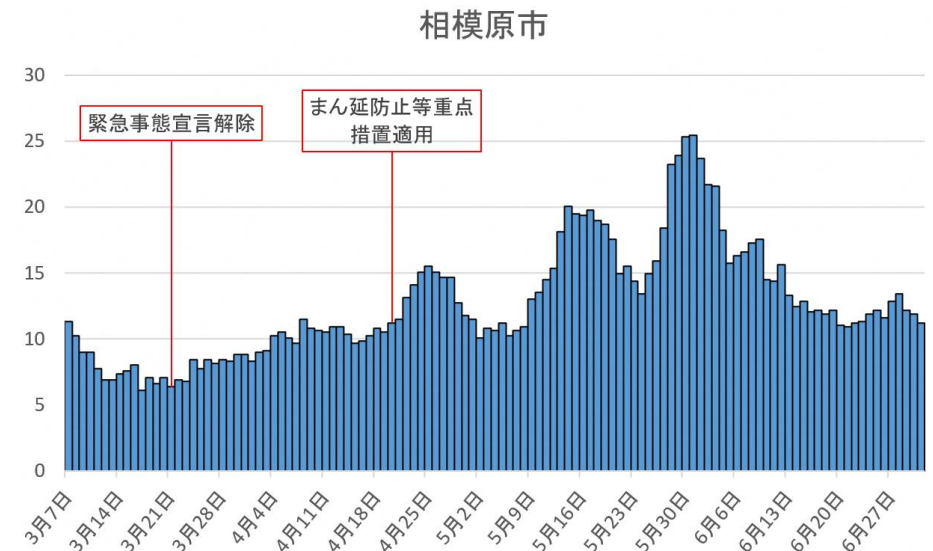
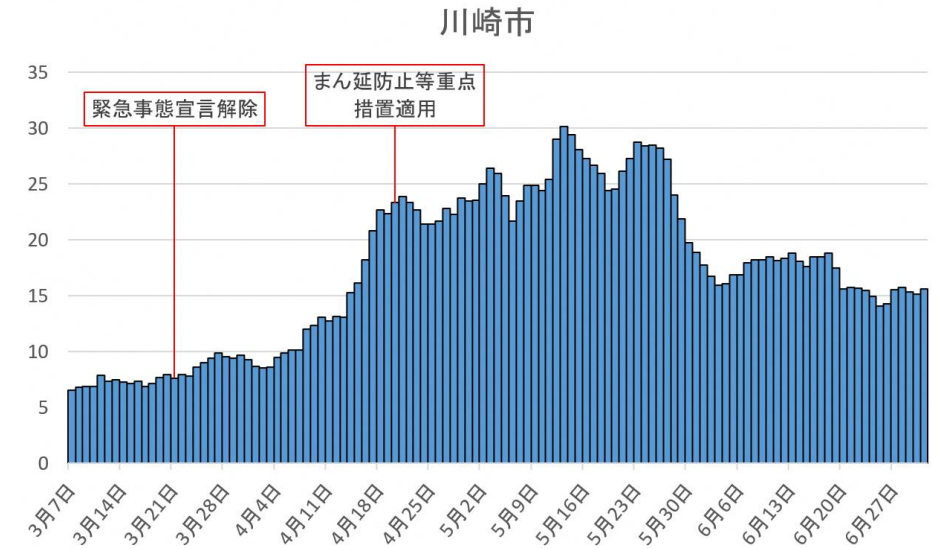
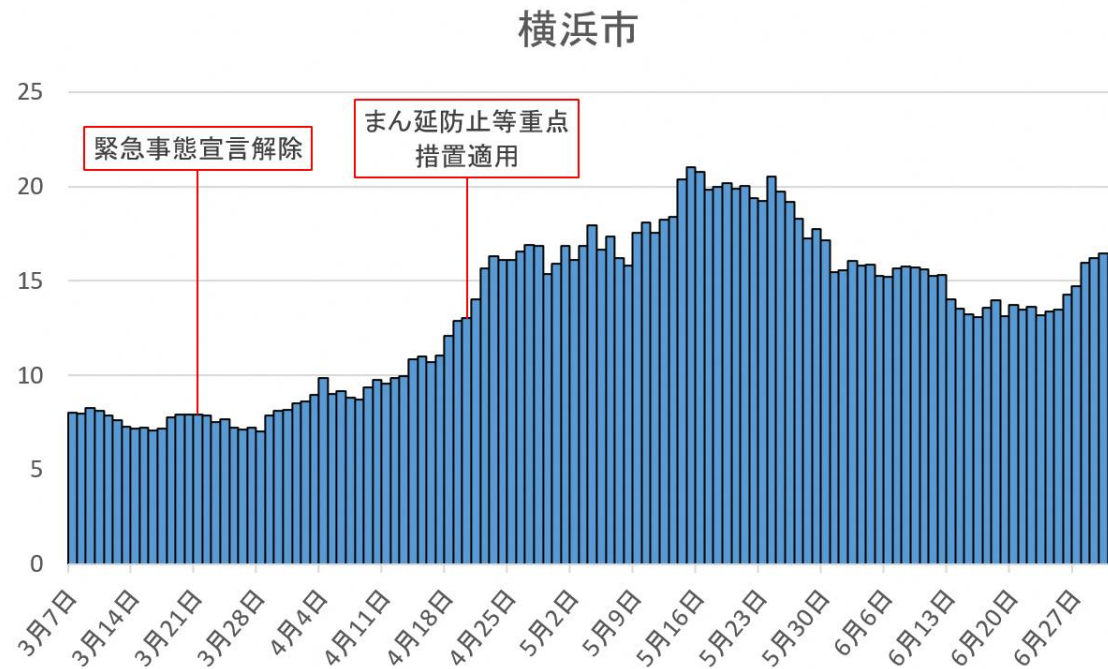
2021年7月1日 現在

# 新規感染者の推移（横浜市・川崎市・相模原市）

※下記グラフの人数には、保健所設置市が発表した域外居住者は除外。



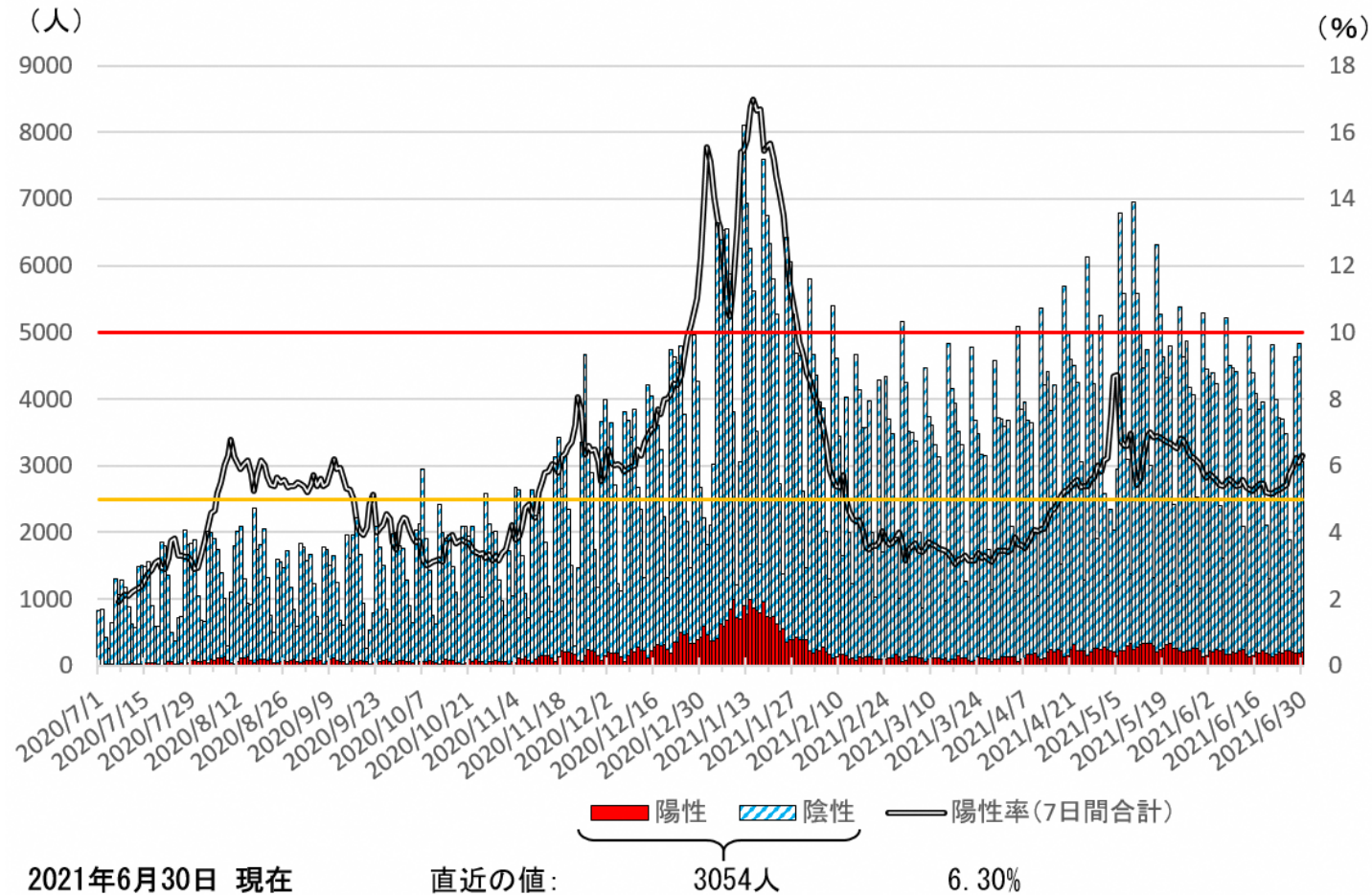
## 人口10万人当たりの居住地別の週合計の推移



2021年7月1日 現在



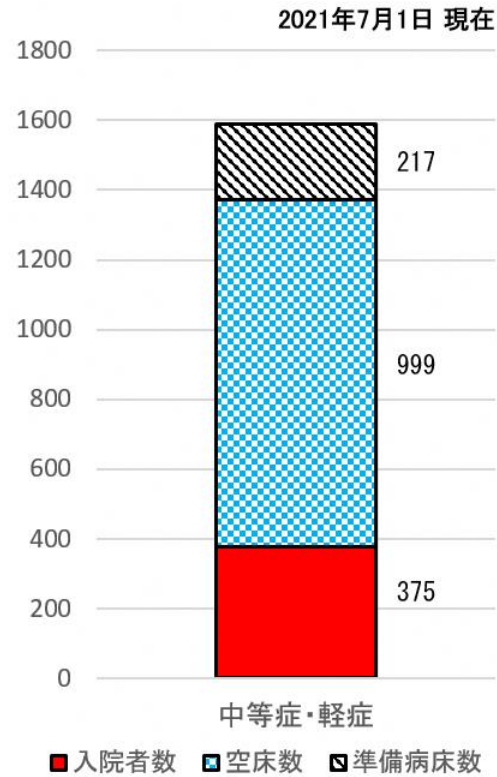
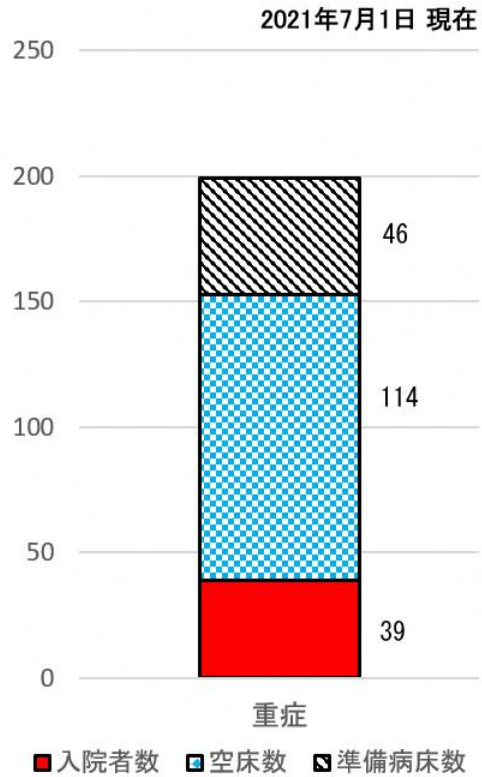
# 検査人数と陽性率の推移



※県のステージ判断指標におけるステージⅢ移行の基準値として5%以上、ステージⅣ移行の基準値として10%以上であることを設定している。

※検査人数には、地方衛生研究所、民間検査機関、医療機関の実施数の合計。陽性患者数+陰性者数=検査人数。陽性率は、過去1週間の平均。医療機関等からの報告が後日になることにより、さかのぼって件数が修正される場合があります。

## ■ 病床利用率

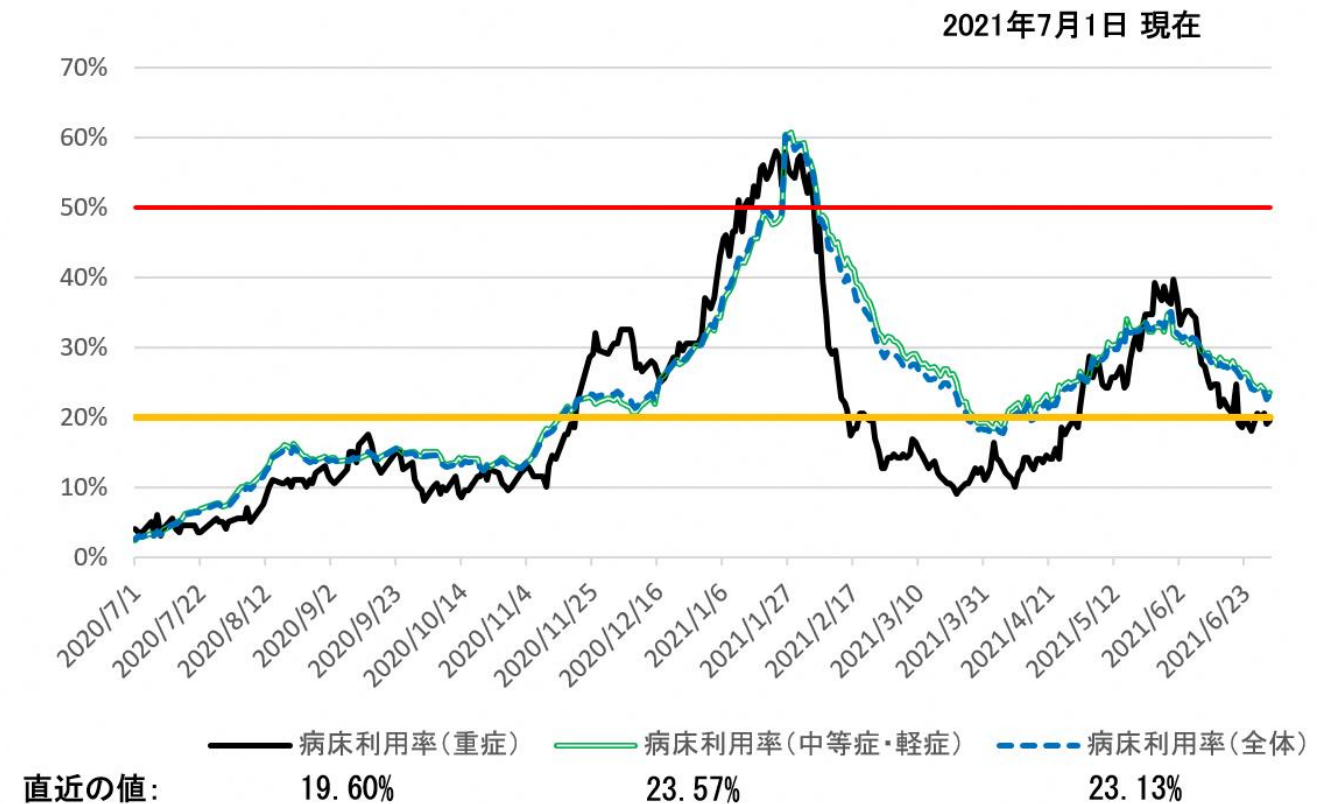


【参考】即応病床数総計：1,527床

※入院者数 + 空床数 = 即応病床数

準備病床は、最終的な確保病床数（1790床 = 重症199床 + 中等症（軽症を含む）1591床）から即応病床数を引いた数

## ■ 病床利用率の推移

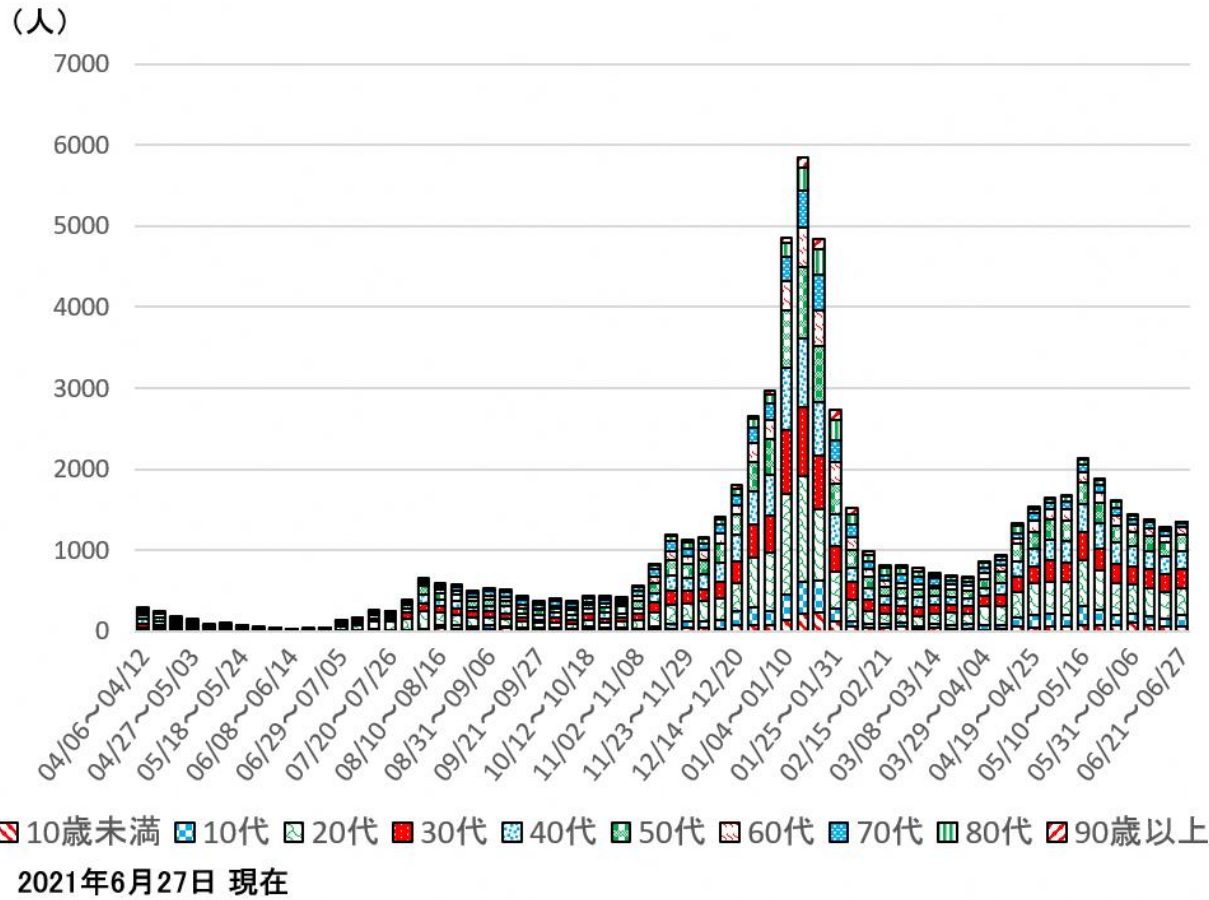


※県のステージ判断指標では、病床全体（宿泊療養施設は含まない）及び重症用病床の各確保病床に対する占有率が、ステージⅢ移行の基準値として20%以上、ステージⅣ移行の基準値として50%以上と設定。

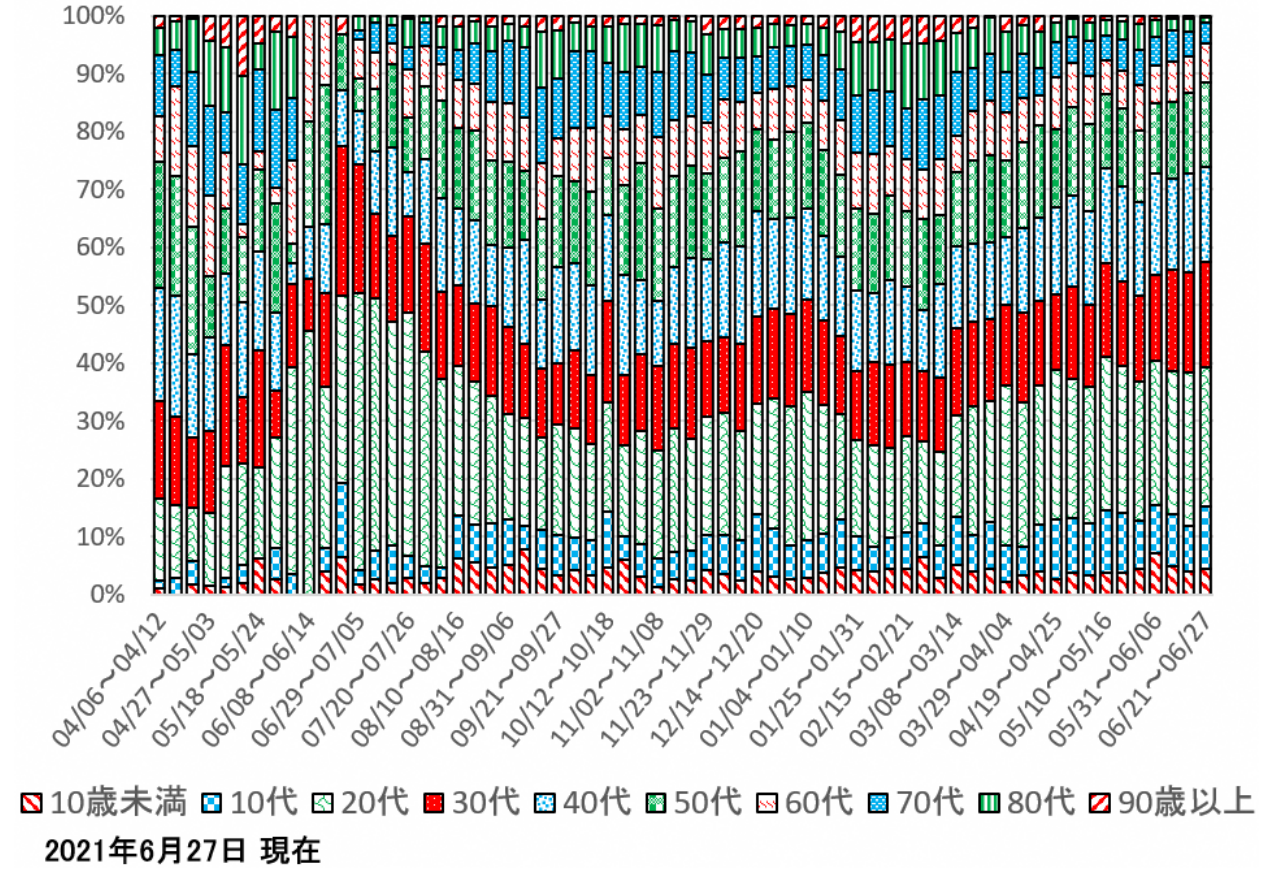
※病床利用率は、最終的な確保病床に対する現在の入院者数で計算。休日における病床利用率は、直前の平日の数値を用いて計算。（ただし、2020年12月29日～については、休日分数値を取得・使用して描画。）

# 年代別感染者の推移（週別）

## ■ 実数ベース

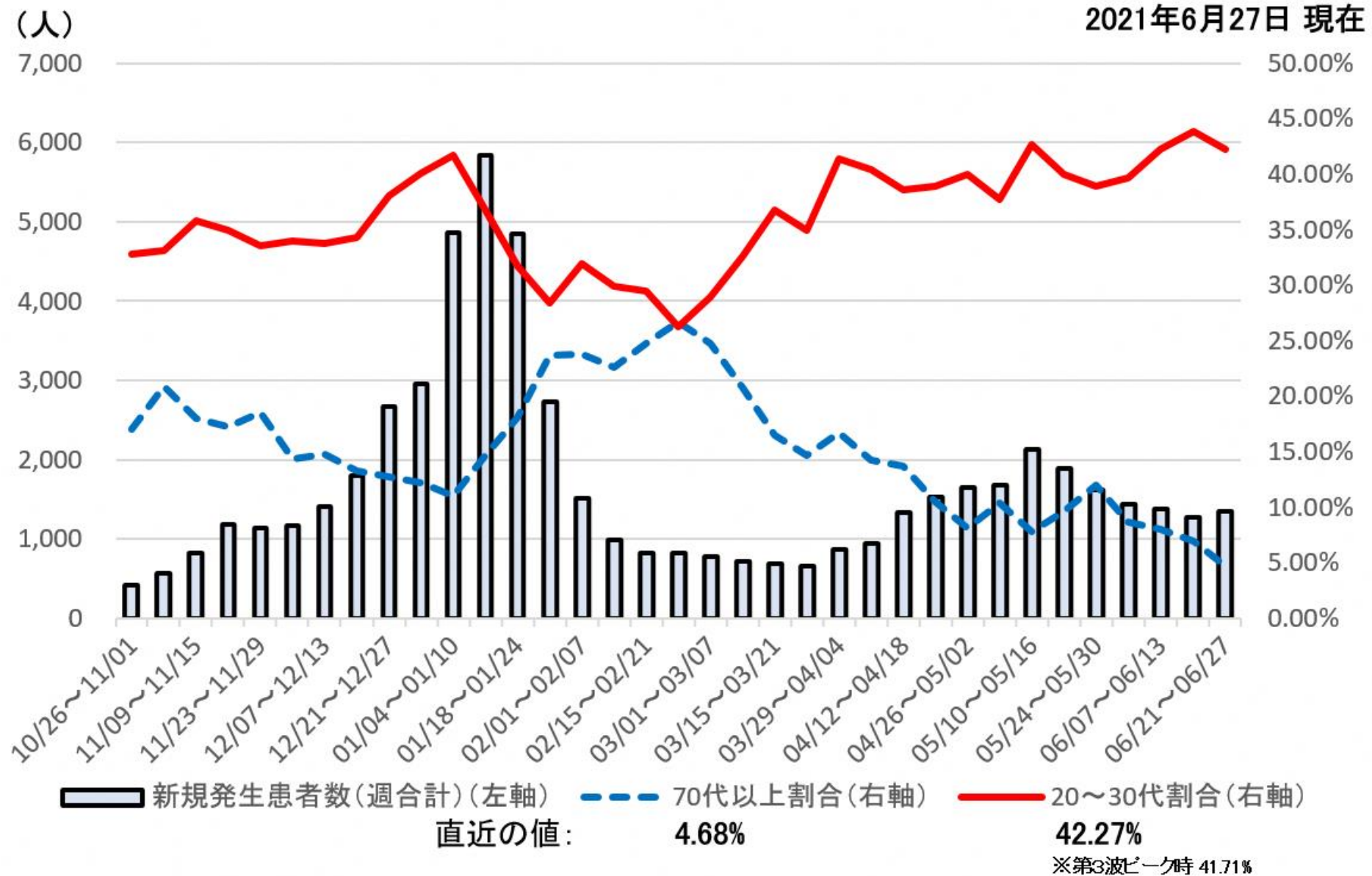


## ■ 割合ベース





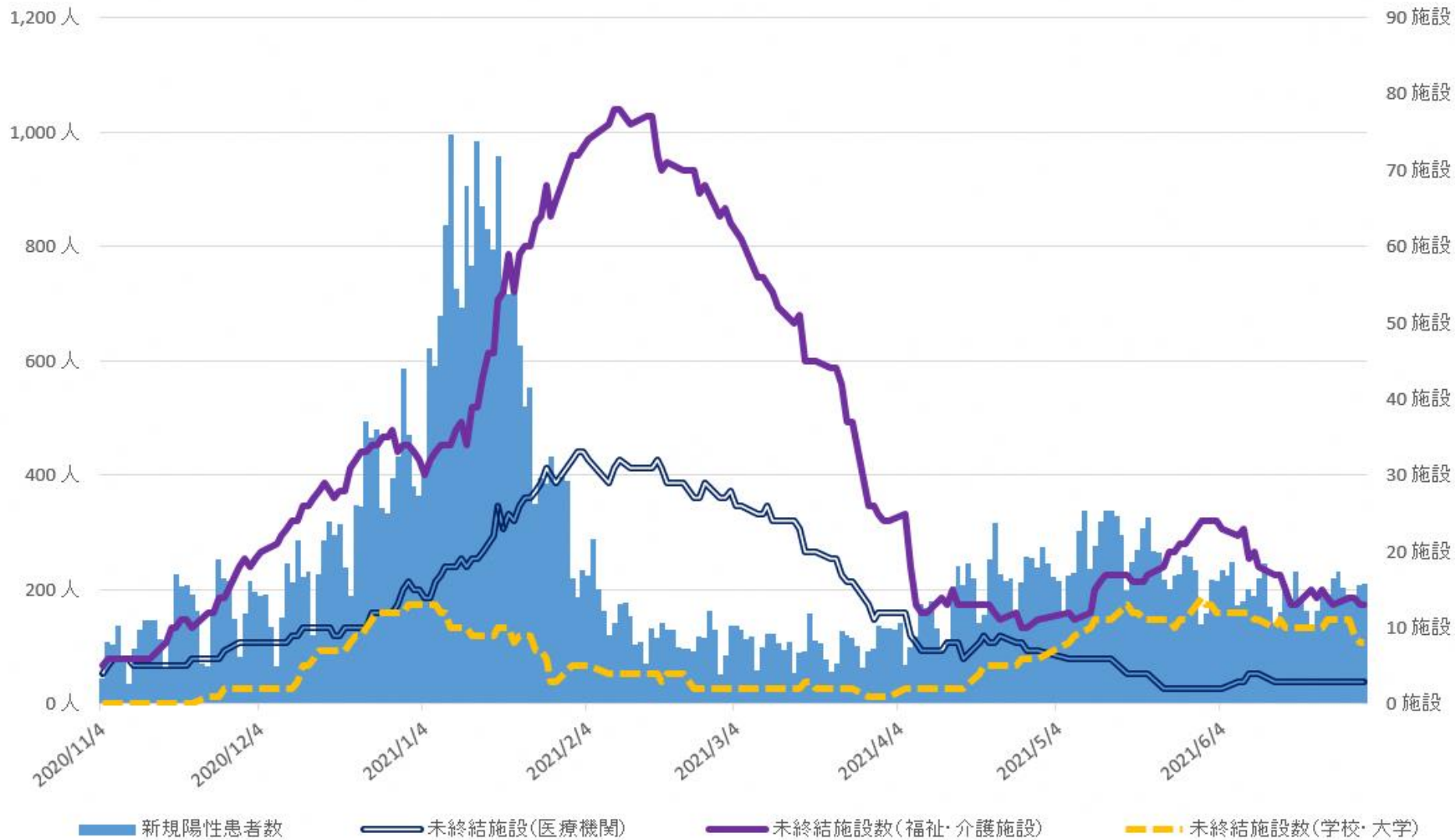
# 20・30代、70代以上の新規感染者の割合（各週）





# 新規陽性患者数とクラスター未終結施設数

## 新規陽性患者数とクラスター未終結施設数



2021年7月1日 現在

# ステージ判断指標と本県の状況について

判断項目		本県の状況		ステージⅢの指標		ステージⅣの指標		
				指標	本県における基準	指標	本県における基準	
医療体制等の負荷	医療のひっ迫具合	病床全体	Ⅲ	23.13% 414床 7月1日 時点	最大確保病床の使用率 <b>20%以上</b>	358床 1,790床(疑似症含まない確保病床数)×0.2	最大確保病床の使用率 <b>50%以上</b>	895床 1,790床(疑似症含まない確保病床数)×0.5
		重症者用病床	Ⅱ	19.60% 39床 7月1日 時点	最大確保病床の使用率 <b>20%以上</b>	39床 199床(疑似症含まない確保病床数)×0.2	最大確保病床の使用率 <b>50%以上</b>	99床 199床(疑似症含まない確保病床数)×0.5
	療養者数	Ⅱ	19.93人 1,837人 7月1日 時点	人口10万人当たり全療養者数 <b>20人以上</b>	1,843人 92.19×20	人口10万人当たり全療養者数 <b>30人以上</b>	2,765人 92.19×30	
感染の状況	PCR陽性率	Ⅲ	6.30% 6月30日 時点	<b>5%以上</b>		<b>10%以上</b>		
	新規陽性者数	Ⅲ	15.71人 1,448人 7月1日 時点	人口10万人当たり週合計 <b>15人以上</b>	1,382人 (週平均197.4人/日) 92.19×15	人口10万人当たり週合計 <b>25人以上</b>	2,304人 (週平均329.1人/日) 92.19×25	
	感染経路不明割合	Ⅲ	59.05% 7月1日 時点	<b>50%以上</b>		<b>50%以上</b>		

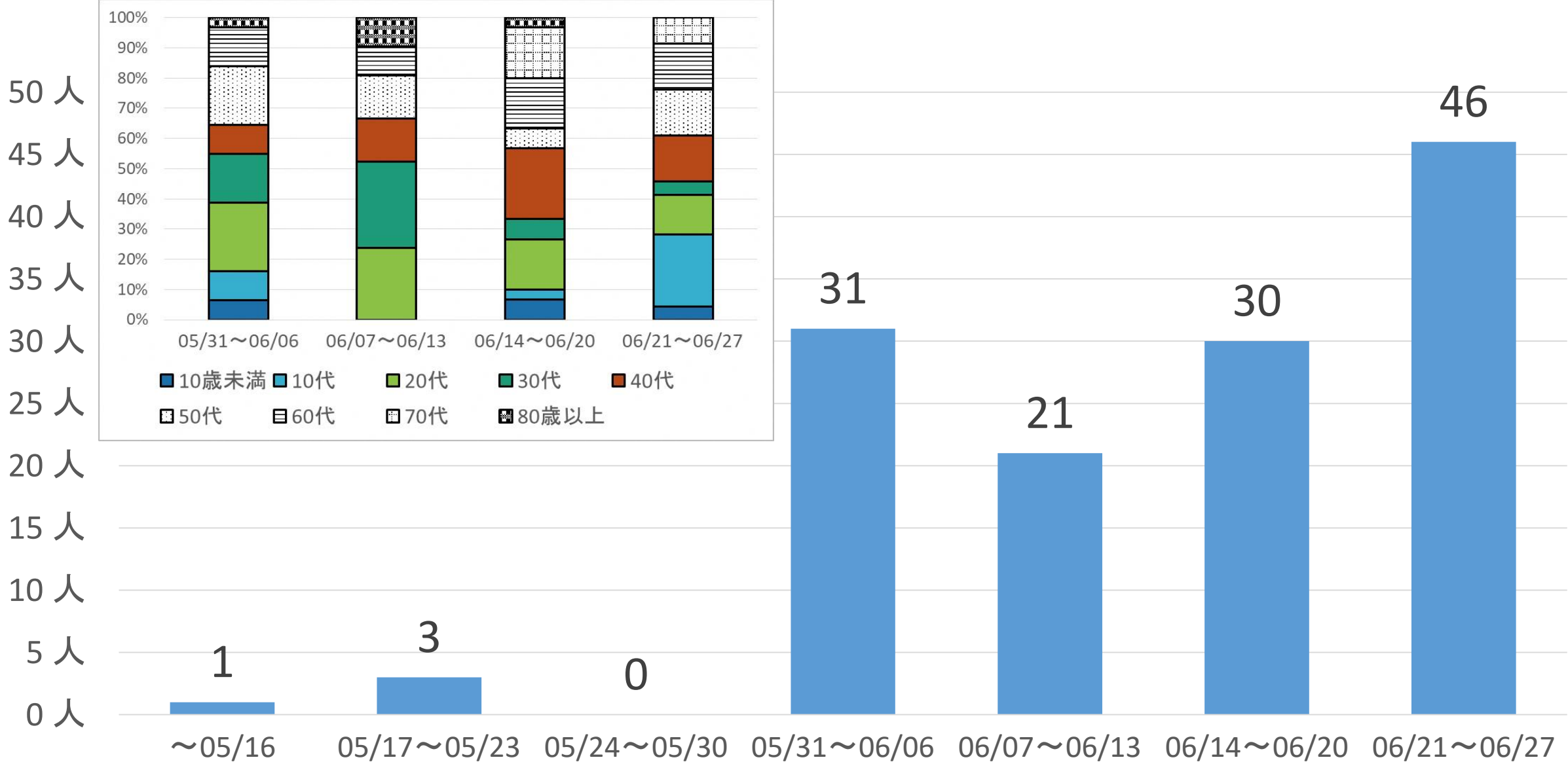
参考: 病床利用率(即応病床中)  
病床全体: 27.11%  
うち重症: 25.49%

※ 速報値のため、修正される可能性あり

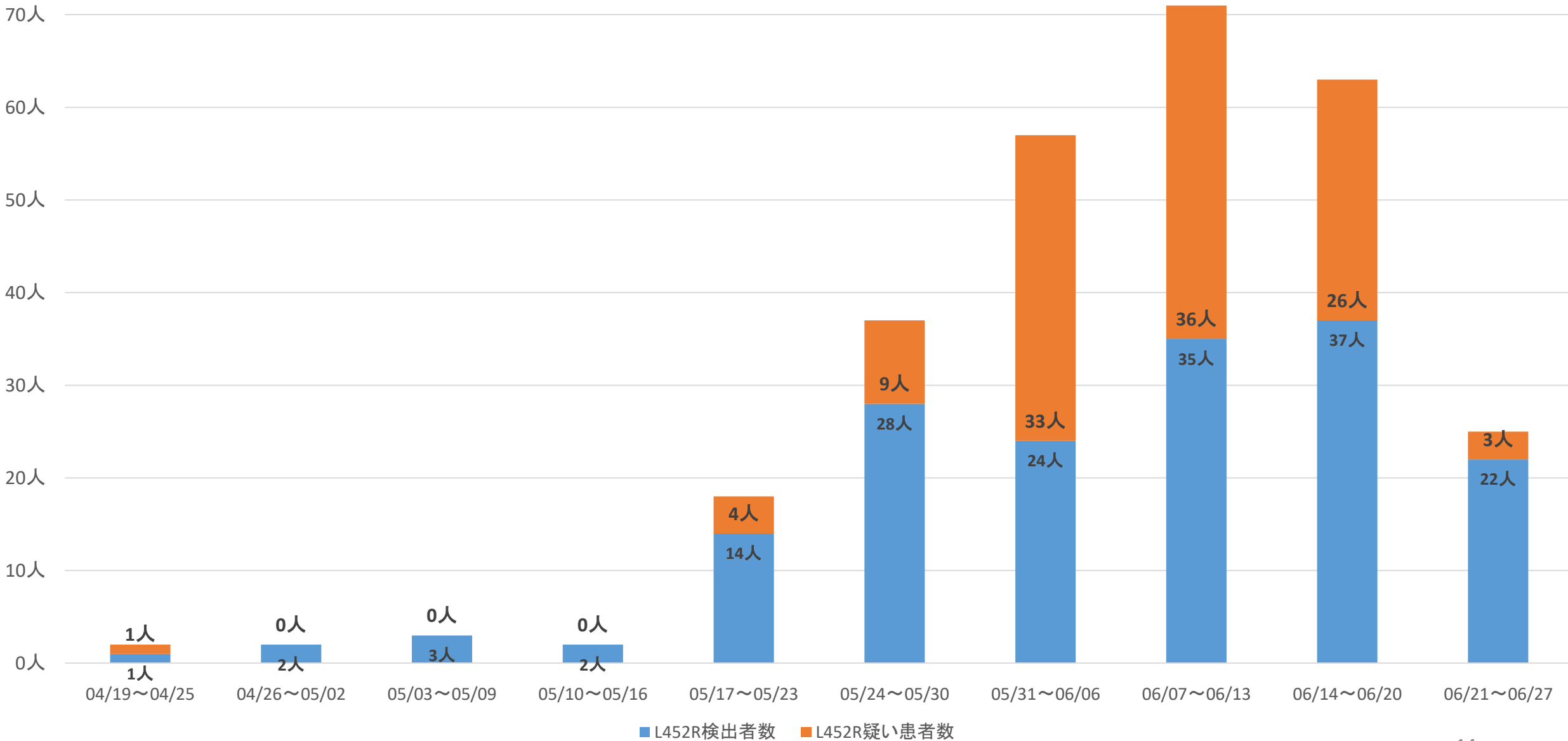
# B.1.617.2 ( $\delta$ 株) の発生状況

2021.7.2 (金)

# デルタ株患者の発生状況（6月27日現在） n : 132

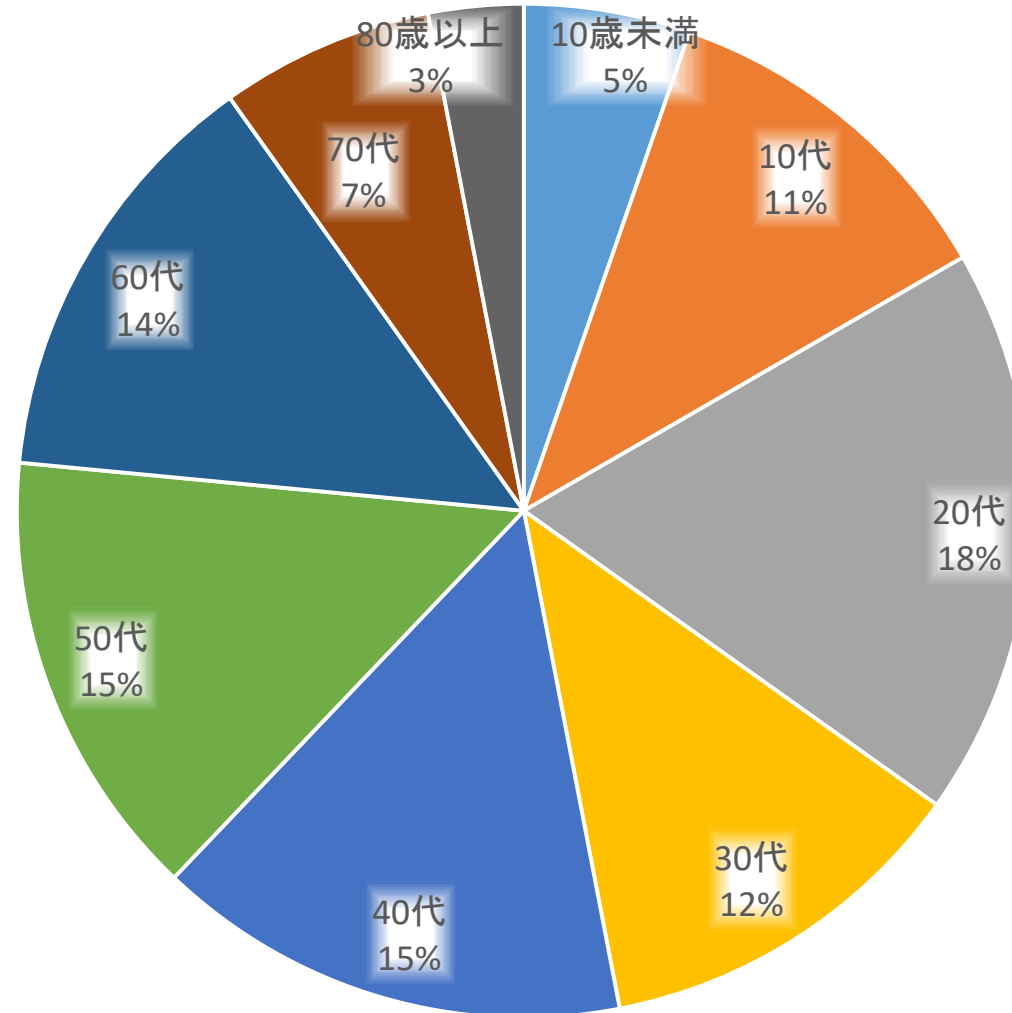


# L452R検出者数 + L452R疑い患者の発生状況（6月27日現在）



# デルタ株患者の年代状況（6月27日現在） n : 132

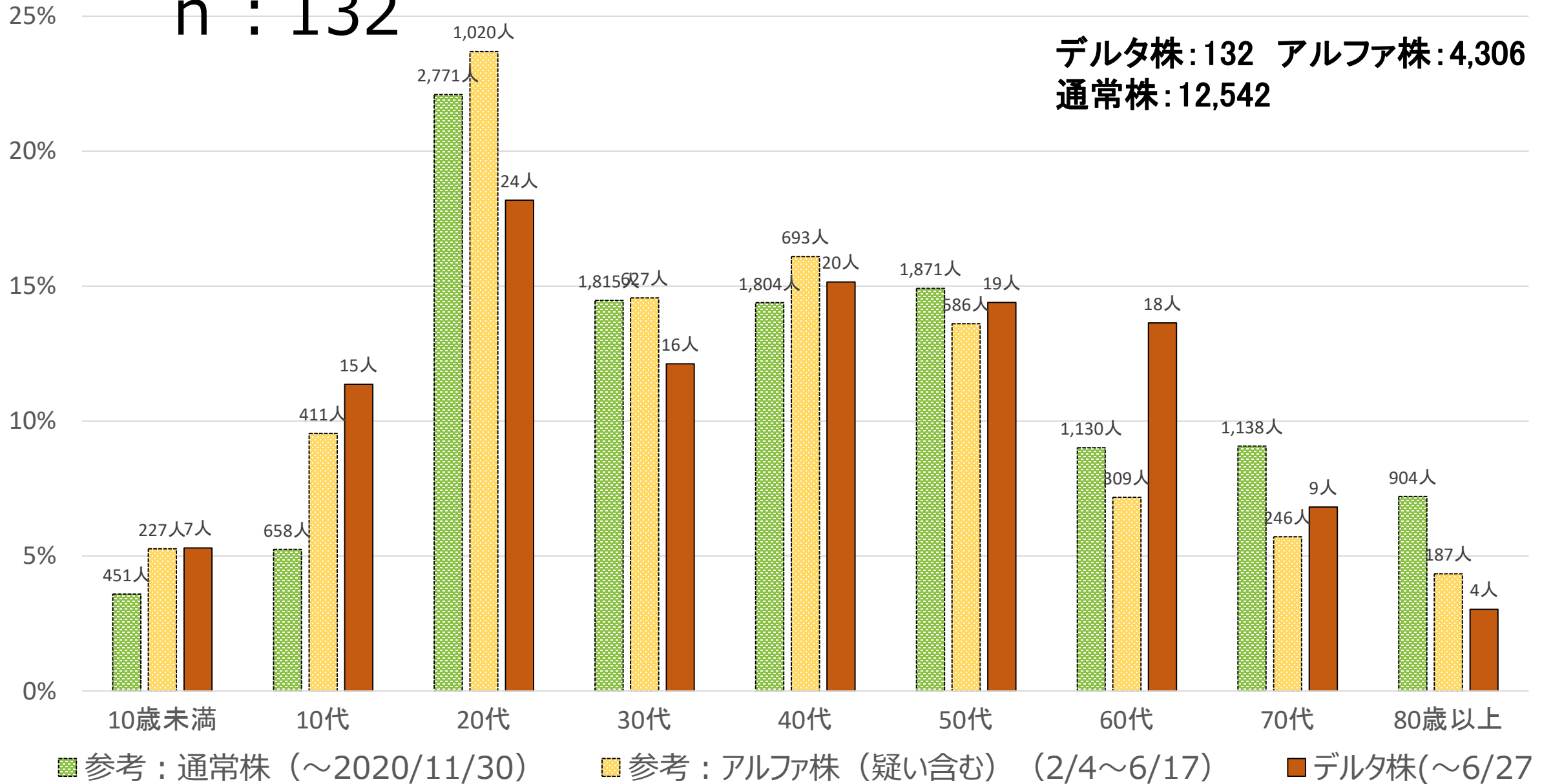
【実数】	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
デルタ株	7人	15人	24人	16人	20人	19人	18人	9人	4人



# デルタ株・デルタ株以外の患者の年代別（6月27日現在）

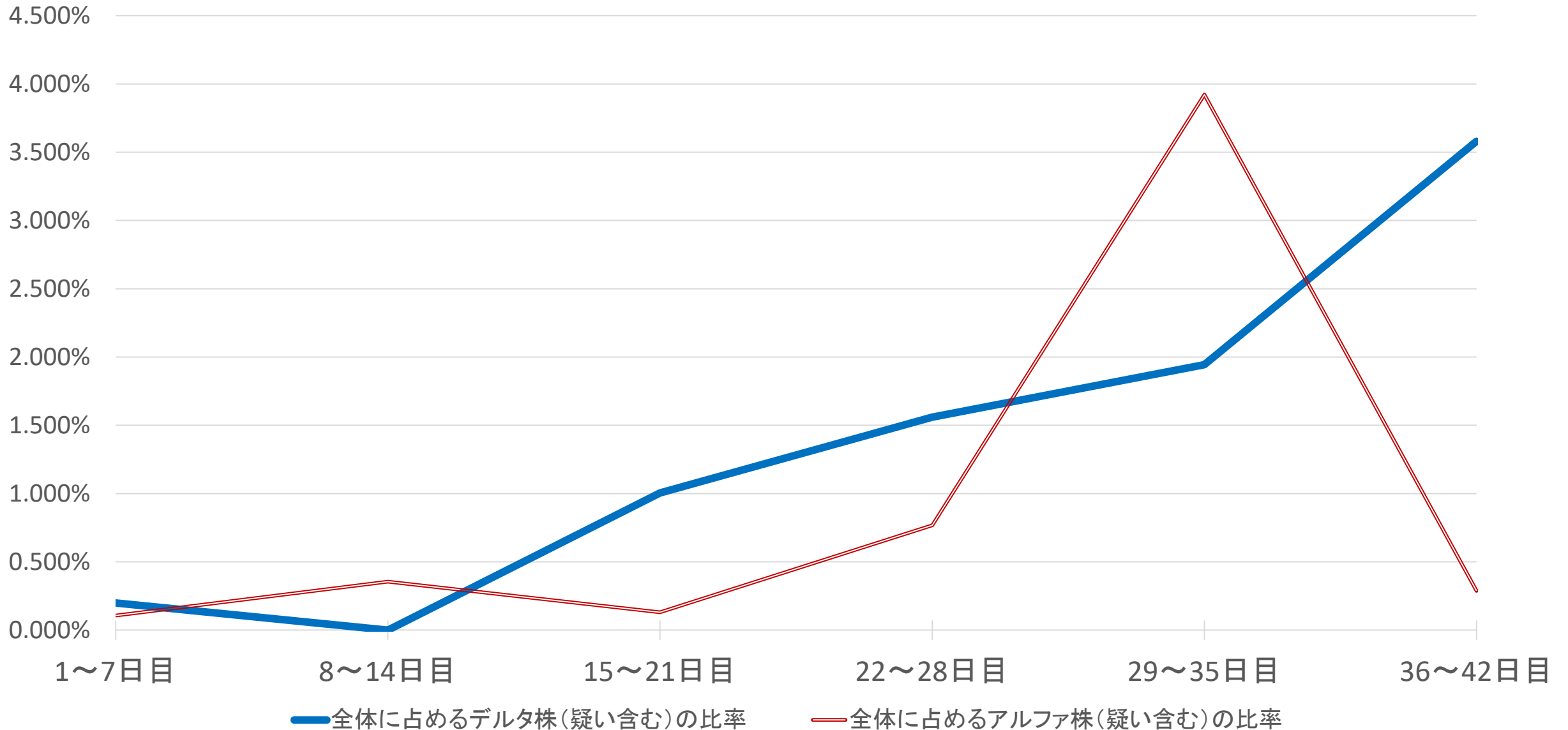
n : 132

デルタ株:132 アルファ株:4,306  
通常株:12,542



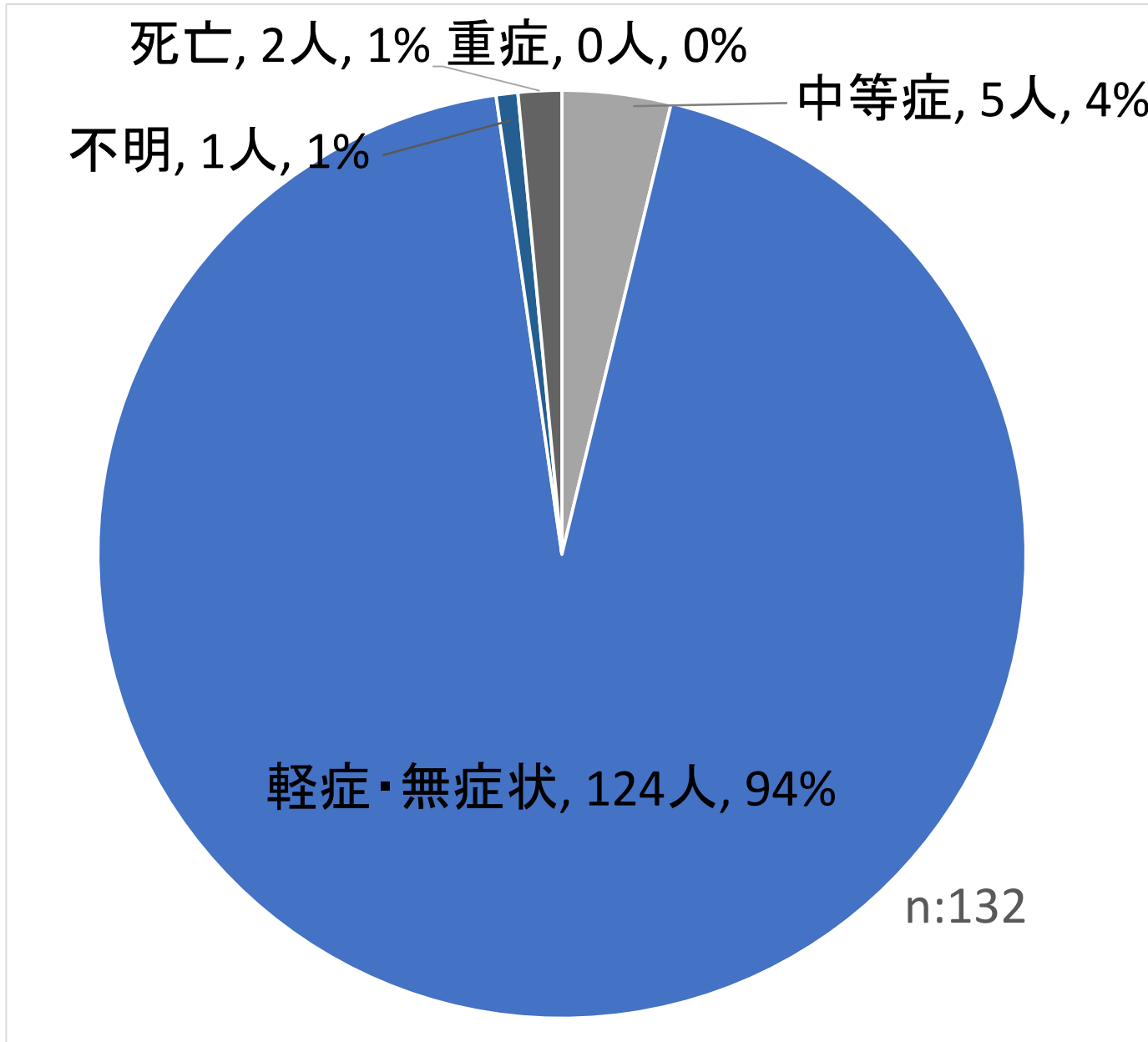
■ 参考：通常株（～2020/11/30） ■ 参考：アルファ株（疑い含む）（2/4～6/17） ■ デルタ株（～6/27）

# アルファ株とデルタ株の増加率の比較



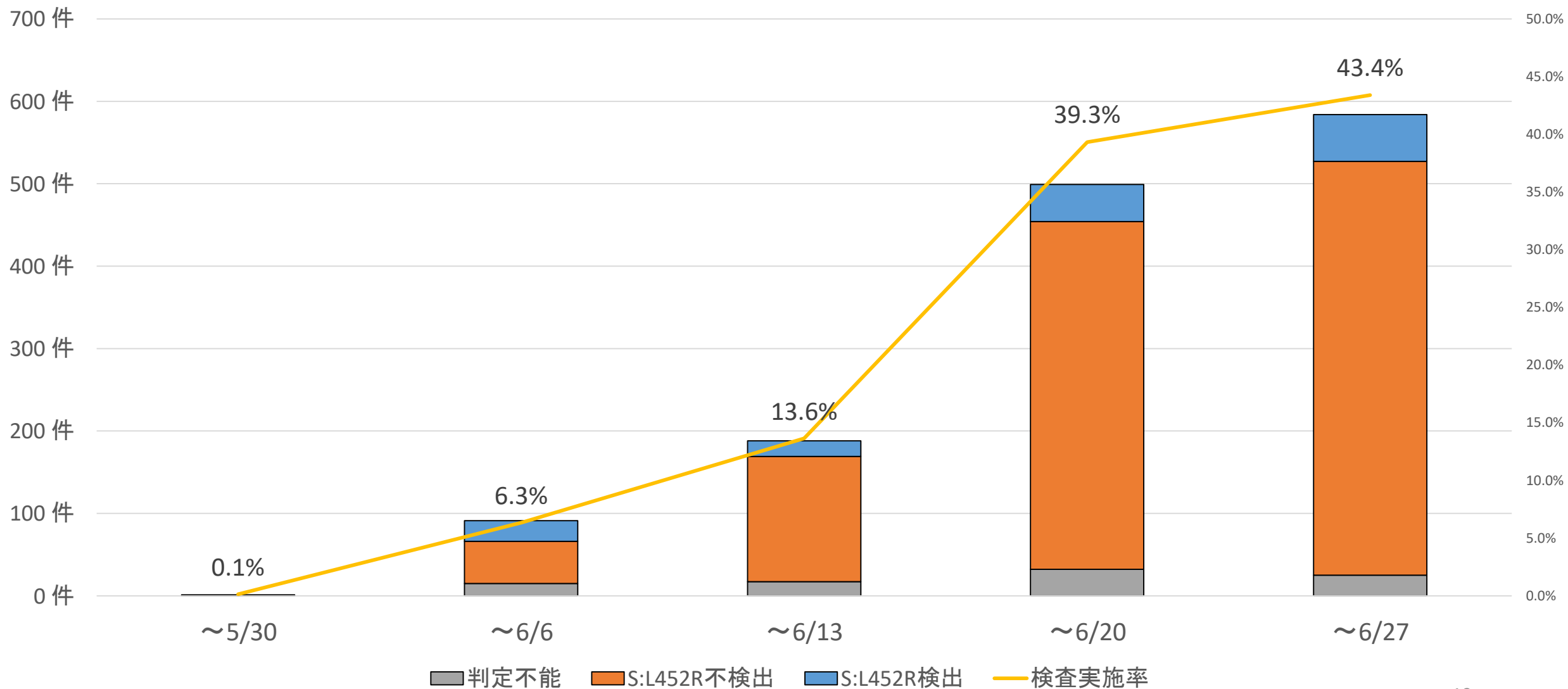


# デルタ株患者の発生状況（6月27日現在）

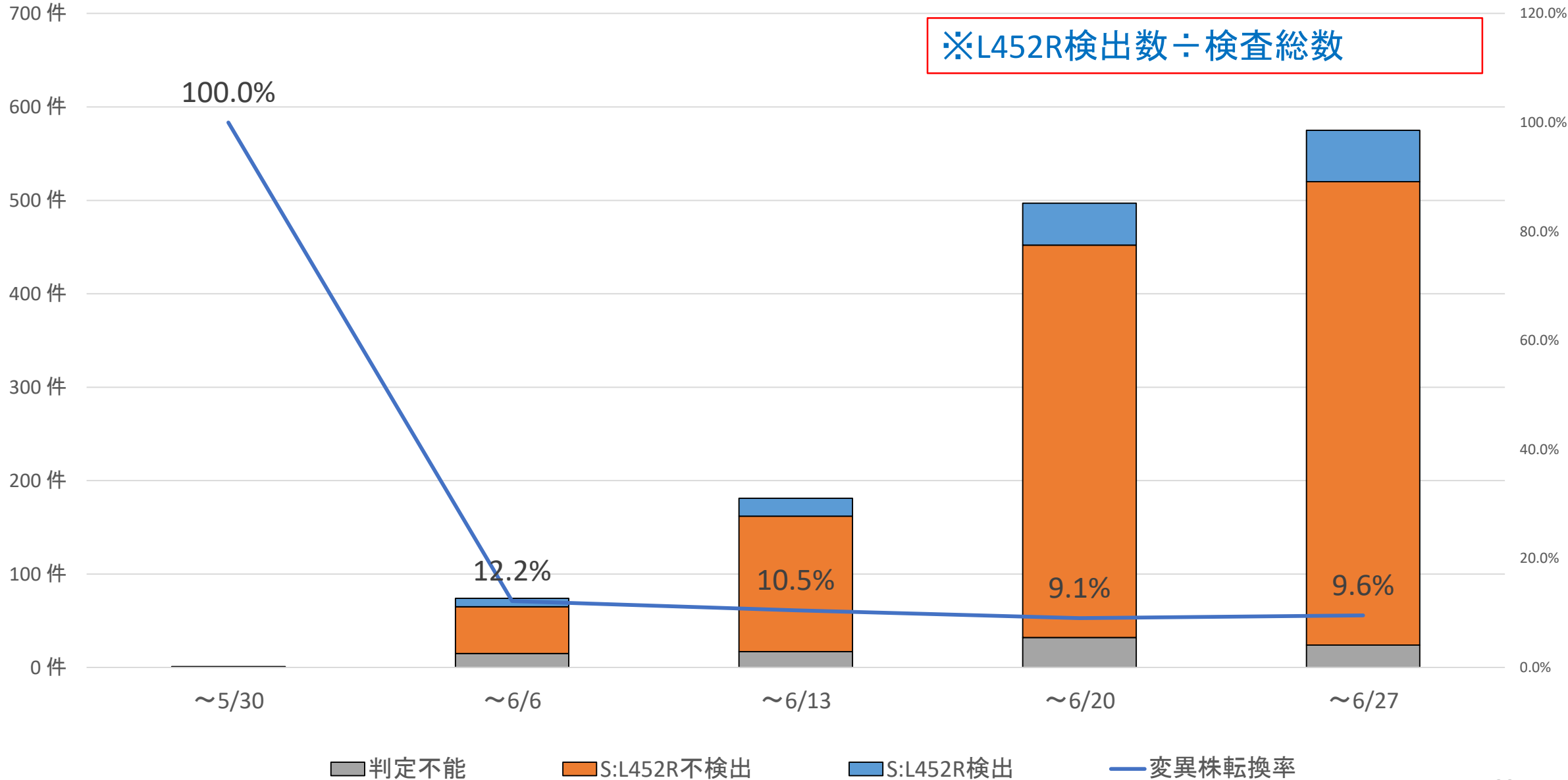


ステータス	132人
入院中	40人
入院調整中	0人
宿泊療養中	4人
自宅療養中	8人
療養終了	77人
死亡	2人
管轄外	1人

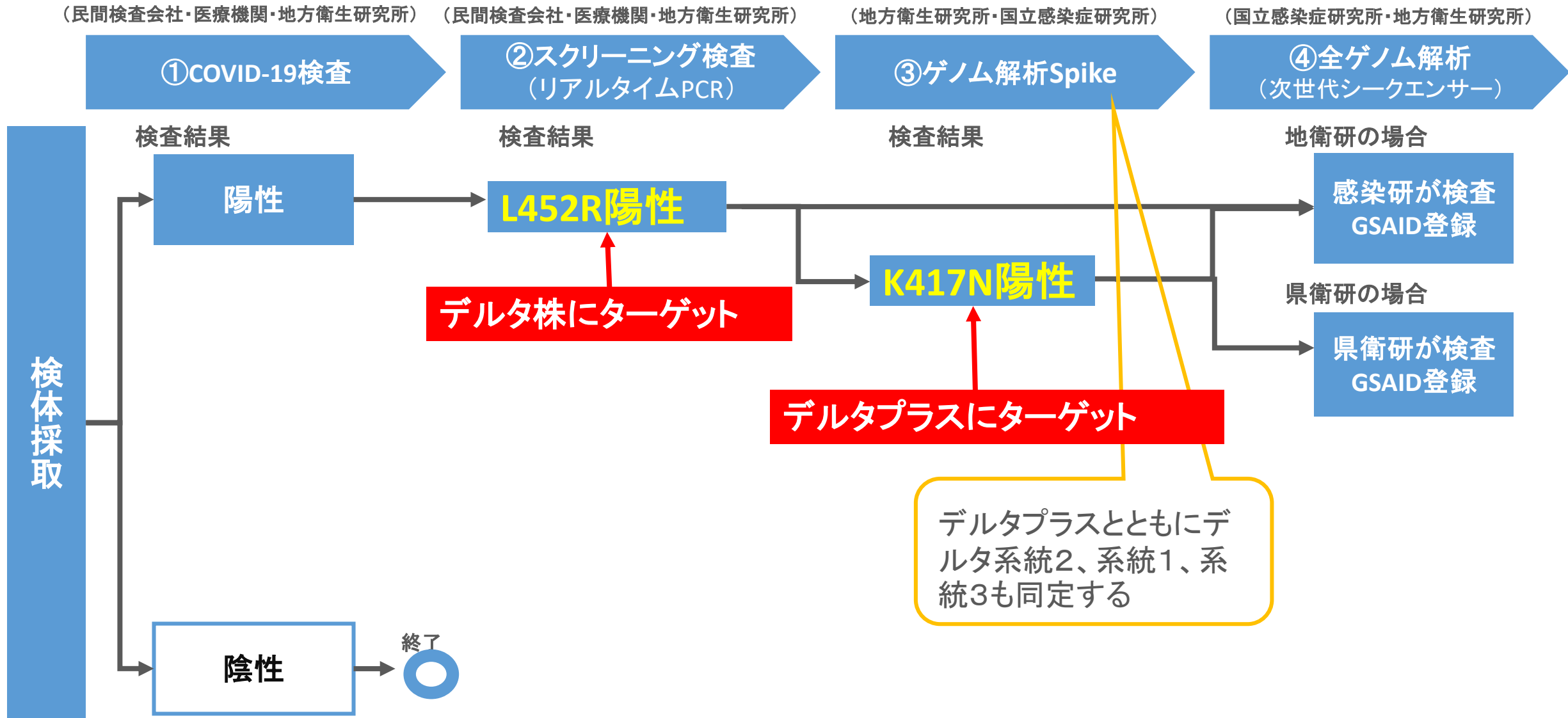
# S:L452R変異株検査実施状況(※速報値)



# S:L452R変異ウイルスモニタリング検査件数及び転換率(※速報値)



# 変異ウイルス検査の流れ（7月2日現在）



# 高齢者施設・障害児者施設等の 従事者に対するPCR検査事業

---

医療危機対策本部室

2021.7.2

# 1 令和3年度 実施結果（6月27日時点速報値）

・高齢者施設及び障害児者施設における従事者を対象にPCR検査（スクリーニング）を実施。

実施期間：高齢者施設 5/14～、障害児者施設 5/31～

## ➤ 対象

施設区分	対象区域	頻度	事業所数	職員数
高齢者施設	全県	週1回	約12,390ヶ所	約195,000人
障害児者施設	横浜市、川崎市、 県域まん延防止等 重点措置区域	週に1回（横浜市） 2週に1回（その他）	約4,300ヶ所	約71,500人
合計	-	-	約16,690ヶ所	約266,500人

## ➤ 検査実績

対象地域	高齢者施設		障害児者施設					
	県全域		横浜市		川崎市		県所管域	
	事業所数	人数	事業所数	人数	事業所数	人数	事業所数	人数
検査数 (実施設数)	4,336 (1,950)	120,493	746 (492)	10,843	150 (135)	2108	84 (68)	2,409
陽性数 (発生届数)	10 (8)		3 (1)		1 (0)		0 (0)	
陽性率 (発生届率)	<b>0.008%</b> <b>(0.007%)</b>		<b>0.028%</b> <b>(0.009%)</b>		<b>0.047%</b> <b>(0%)</b>		<b>0%</b> <b>(0%)</b>	

## 2 今後の方向性

- ◎ 高齢者施設 < 公益財団法人 日本財団との連携事業 >
  - 当面（8月末まで）は継続
    - ・ ワクチンの接種状況
    - ・ 福祉施設への抗原簡易キットの配布（7月から順次）  
などを考慮
  
- ◎ 障害児者施設 < 民間検査会社へ委託 >
  - 高齢者施設等へのPCR検査事業と同様、継続を検討

### 3 PCR検査と並行した事業所への調査

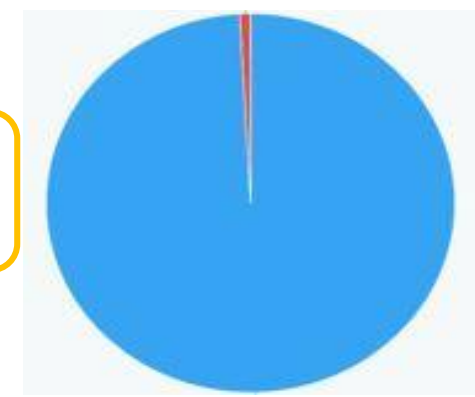
#### ○ 調査項目

項目	内容
施設名	施設名
施設基礎情報	施設分類、住所、連絡先等
職員数情報	常勤・非常勤ごとの人数
サービス提供状況	デイケア等の実施状況
健康観察	毎日の健康観察の実施の有無等
協力医療機関	協力医療機関の有無と医療機関名
感染制御	衛生管理の内容等
環境整備	洗濯やリネン等のオペレーション

- ◎ 施設調査の回答率（7月1日時点）
- ・ 高齢者施設 24.4%（476事業所/1,950事業所）
  - ・ 障害児者施設 102.2%※（779事業所/762事業所）
- ※ 申込みを行ったが、検査を受検しなかった施設有り

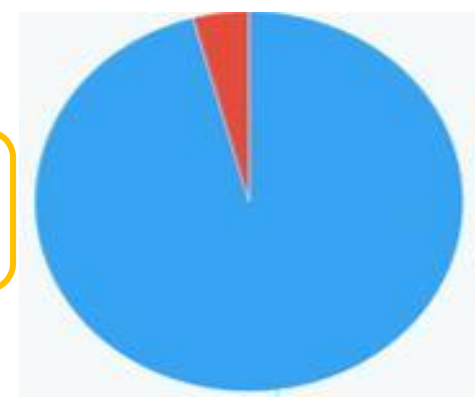
- 健康チェック（体温測定、症状チェック等）（職員）
- ・ 毎日実施している：487（99.2%）
  - ・ 毎日実施していない：4（0.8%）

高齢者施設



- 健康チェック（体温測定、症状チェック等）（職員）
- ・ 毎日実施している：891（95.8%）
  - ・ 毎日実施していない：39（4.2%）

障害児者施設



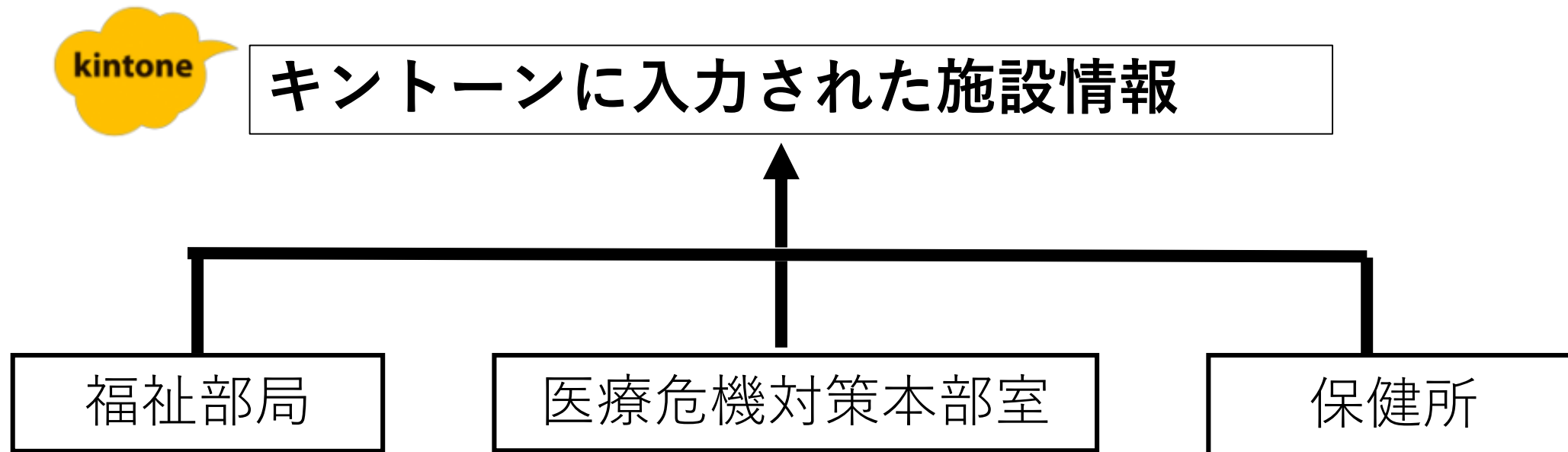


## 4 施設情報の活用

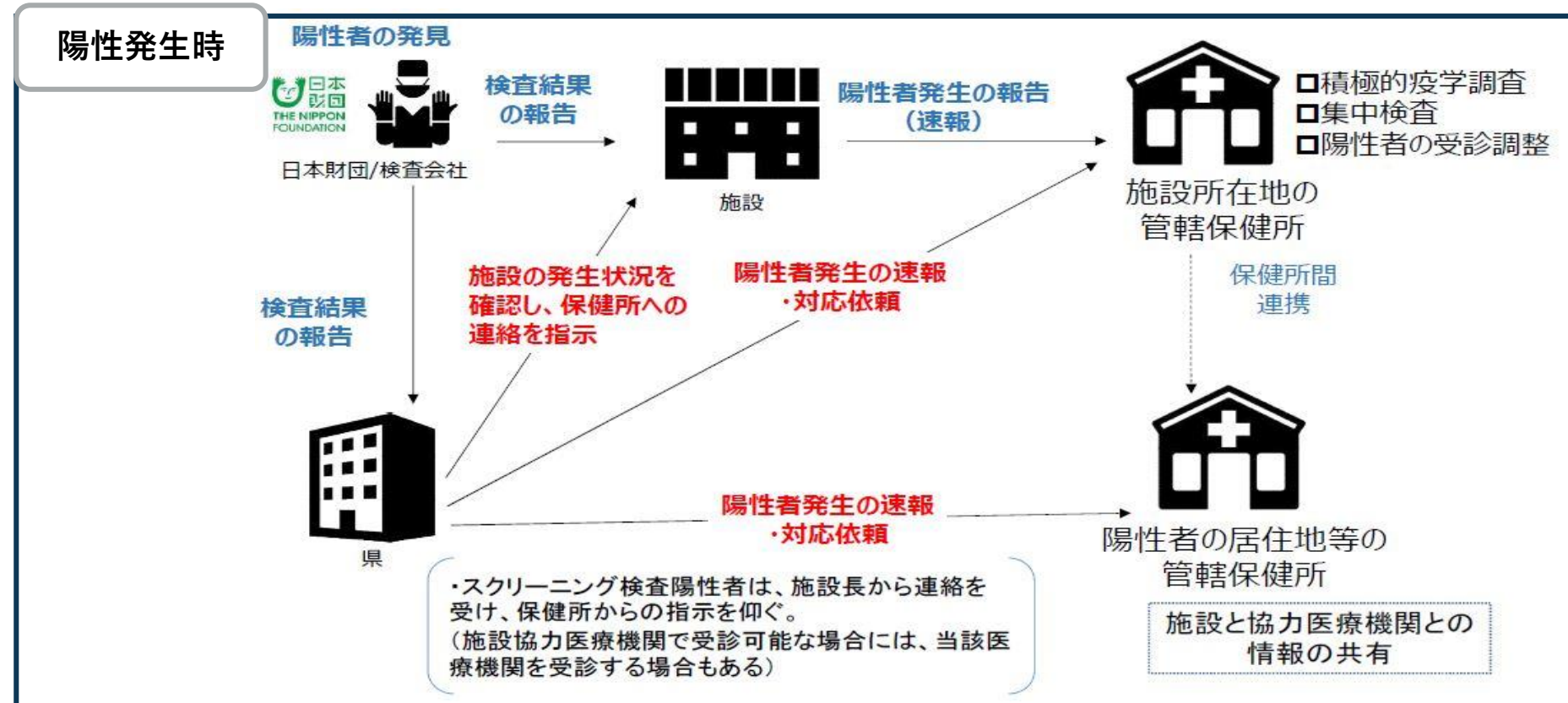
◎ PCR検査結果や調査結果については、  
県のシステム台帳（kintone）で一元管理

⇒ 健康医療局、福祉部局及び保健所で情報を共有

⇒ クラスタ対策等にも活用



# (参考) 検査実施スキーム等



# 東京2020大会における 神奈川モデルの運用について

---

医療危機対策本部室

2021.7.2 v1.0

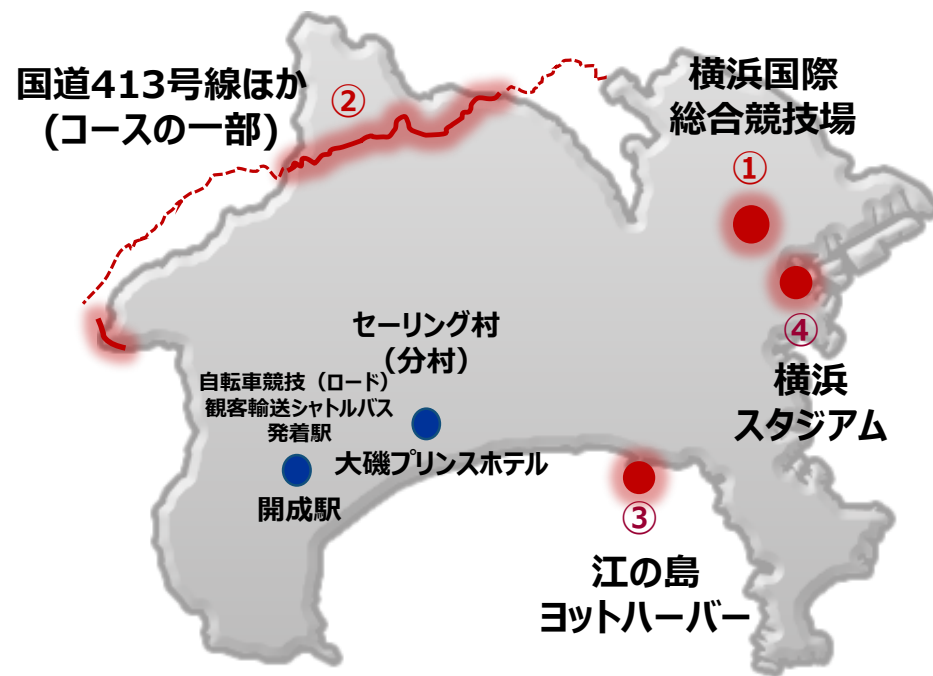
# 目次

- 1 東京2020大会の概要
- 2 東京2020大会におけるコロナ対応の概要
- 3 スクリーニング検査時の流れ
- 4 発症時の流れ

# 1 東京2020大会の概要

---

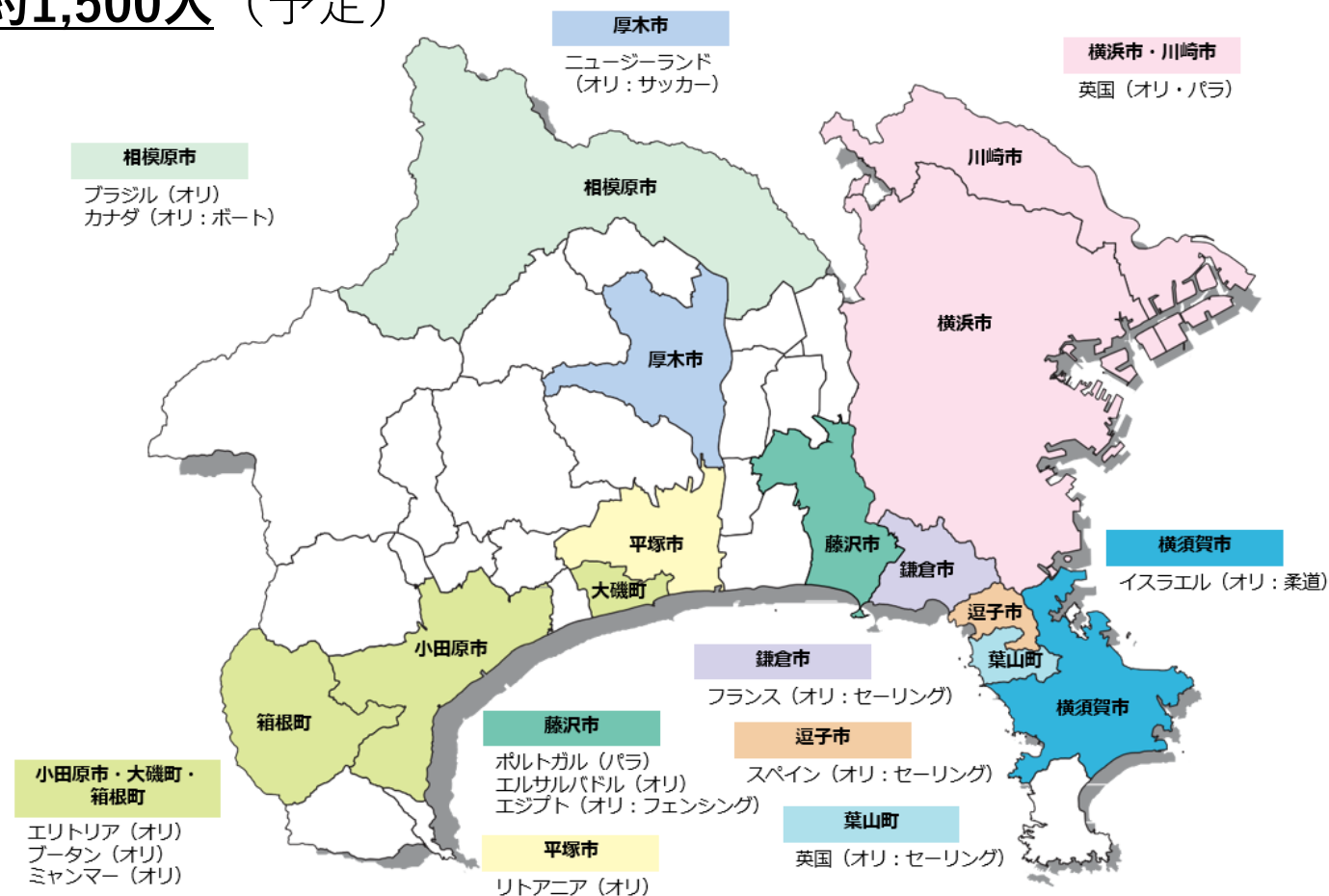
# 1-1 県内で開催される4競技



競技名	開催場所	日程 (※他会場の日程を含む)
① サッカー	横浜国際総合競技場 (横浜市)	7/22～8/7 [男子] (※) 7/21～8/6 [女子] (※)
② 自転車競技 (ロード)	国道413号線ほか (相模原市・山北町)	7/24 [男子] 7/25 [女子]
③ セーリング	江の島ヨットハーバー (藤沢市)	7/25～8/4 [男子/女子/混合]
④ 野球・ソフトボール	横浜スタジアム (横浜市)	7/28～8/7 [野球] (※) 7/21～7/27 [ソフトボール] (※)

# 1-2 県内で開催される事前キャンプ

- 時差や気候への順応のため、大会前に任意で行うトレーニングのこと
- 対策主体：受入自治体（県及び10市3町5団体）、14か国を受入予定
- 期間：令和3年7月～9月上旬
- 県内滞在人数：約1,500人（予定）



## 1 - 3 関係者分類

	分類（アクレディテーションカード保持者）
1	選手及び各国選手団
2	国際競技連盟（審判、技術役員、スタッフ等）
3	オリンピック・パラリンピックファミリー （国際オリンピック委員会及び国際パラリンピック委員会関係者、次回大会（夏季・冬季）以降の組織委員会関係者、要人等）
4	メディア関係者（出版、カメラマン等）、放送関係者
5	マーケティングパートナー
6	大会スタッフ （組織委員会が雇用する有給スタッフ、委託先事業者の従業員及びボランティア等）

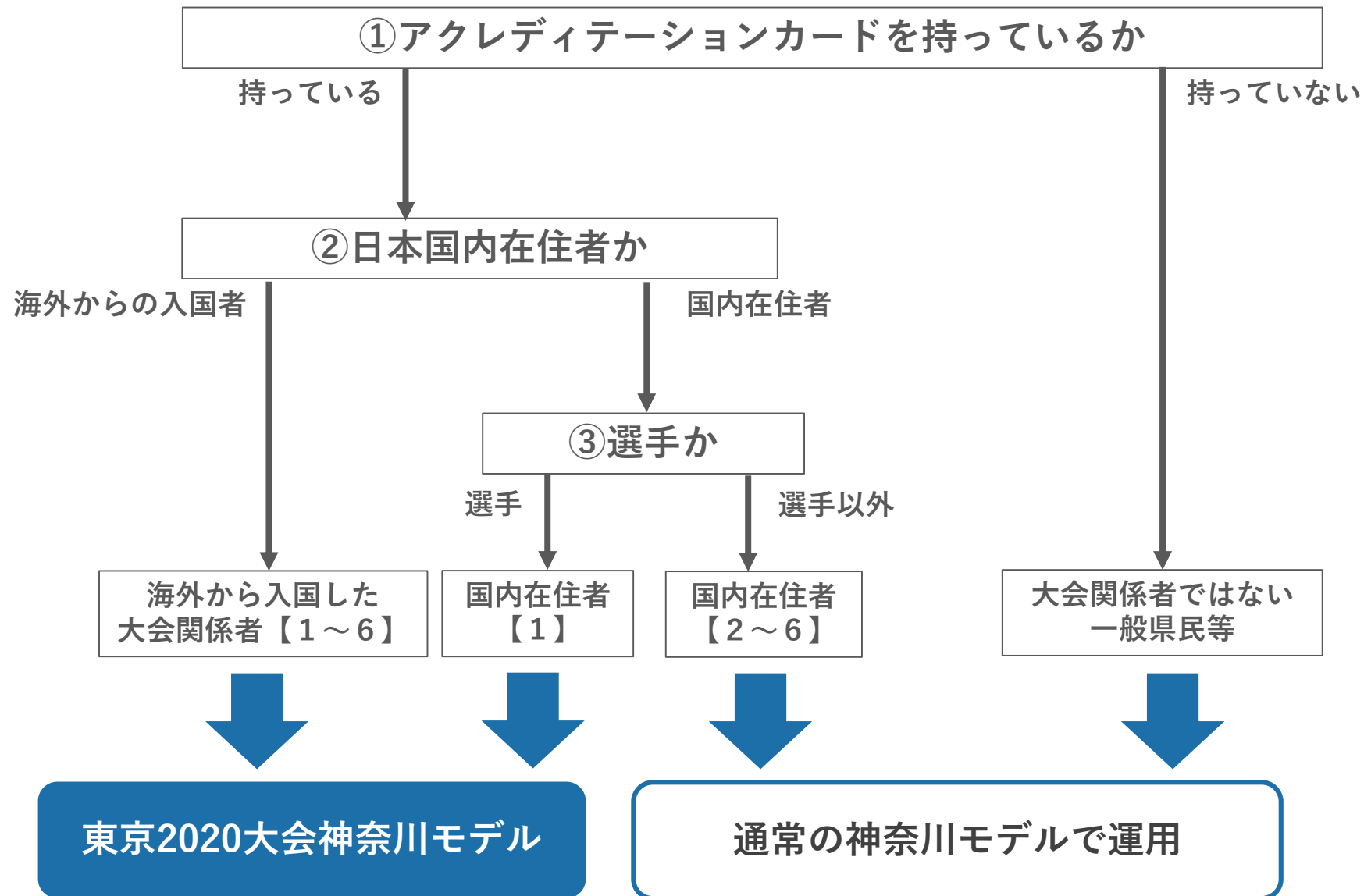
※アクレディテーションカードとは、大会関係者の身分を証明するとともに、必要なエリアへのアクセス権を付与するもの



## 2 東京2020大会におけるコロナ対応の概要

---

## 2-1 東京2020大会における神奈川モデル 適用区分



## 2 - 2 東京2020大会における神奈川モデル

**重症**

人工呼吸/ECMO



高度急性期・急性期病院

**中等症**

酸素投与+ $\alpha$



臨時の医療施設

(湘南ヘルスイノベーションパーク内)

**無症状・軽症**

酸素投与不要

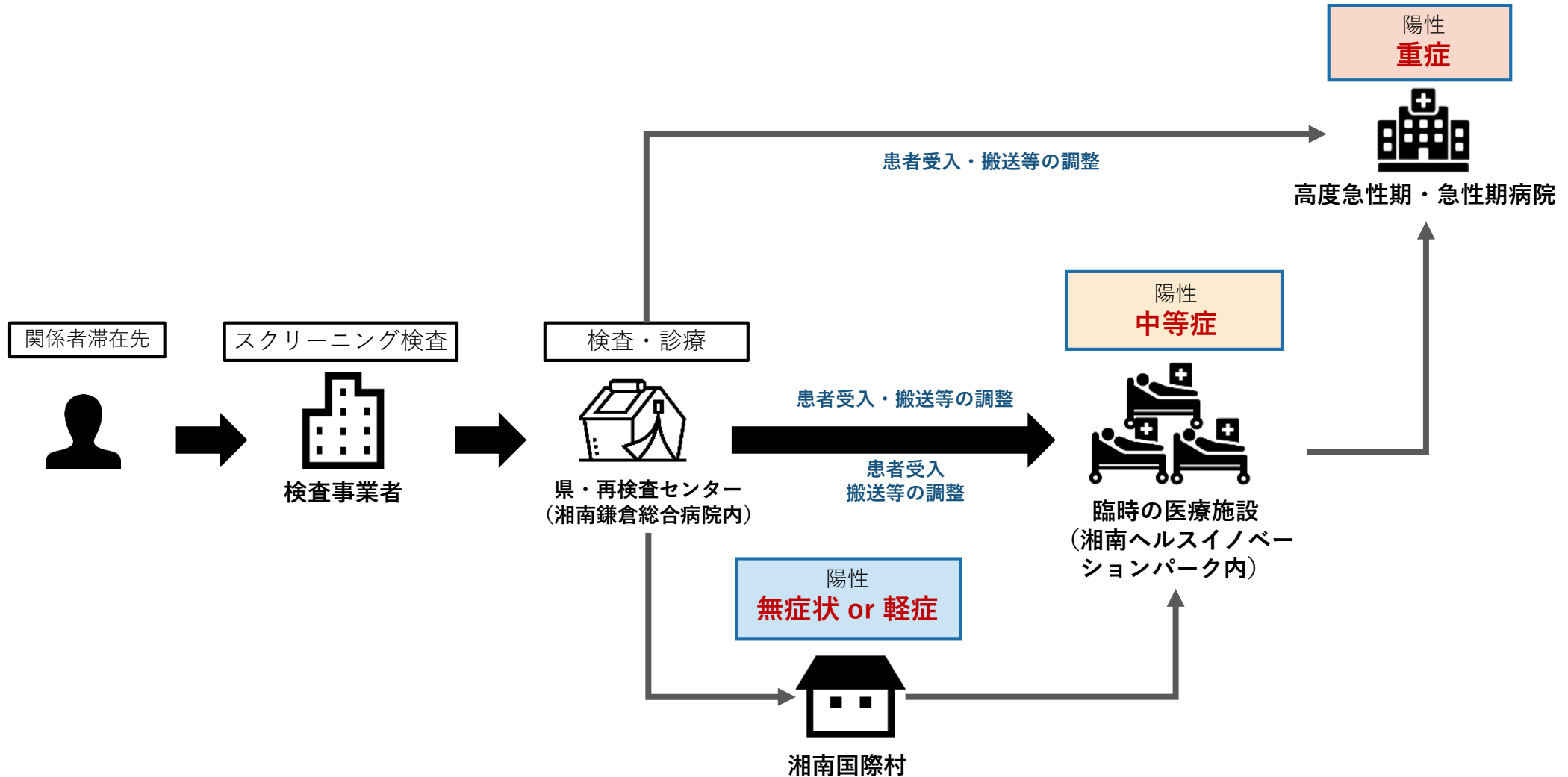


湘南国際村

### 3 スクリーニング検査時の流れ

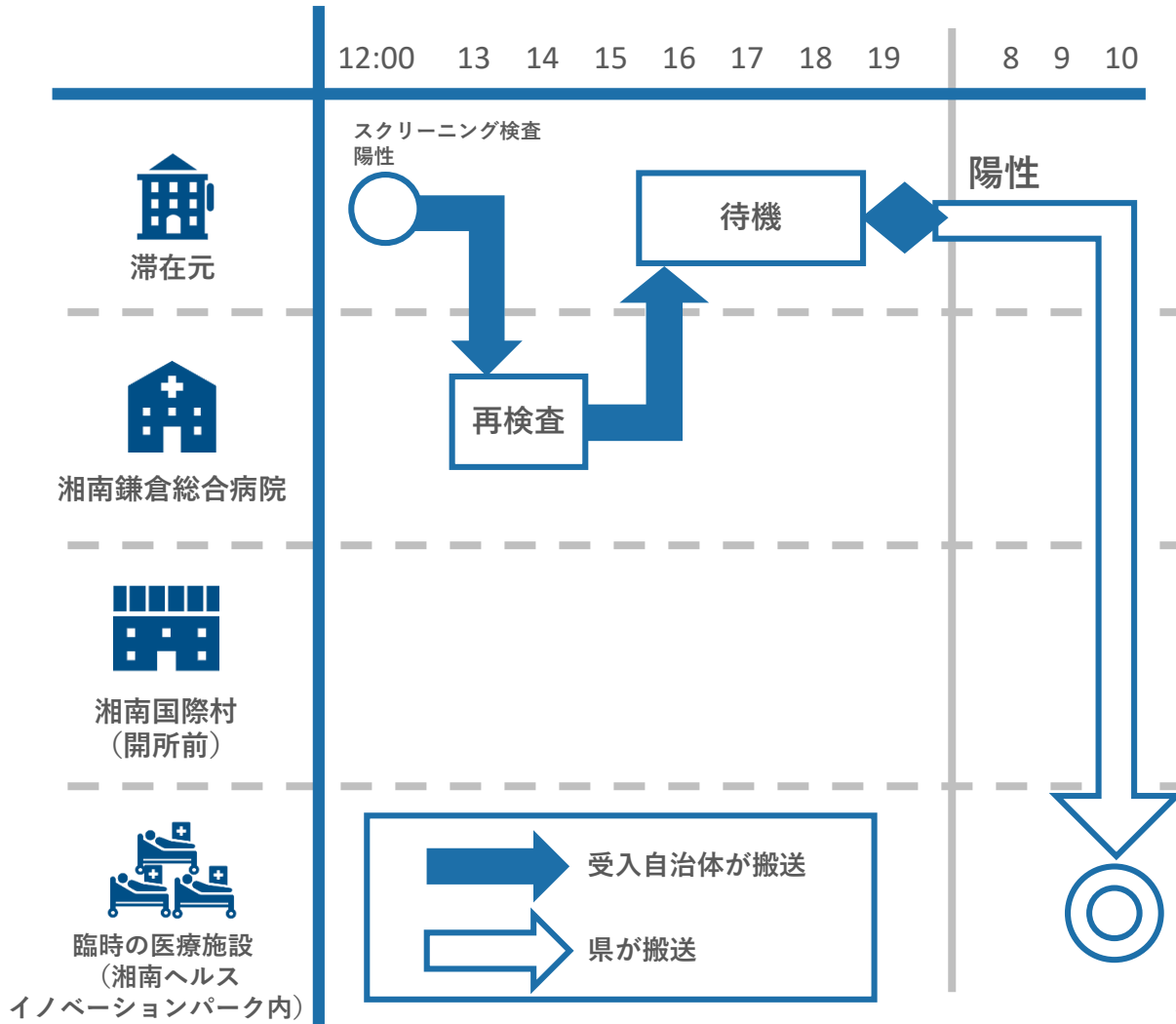
---

# 3-1 東京2020大会における神奈川モデル（スクリーニング検査）

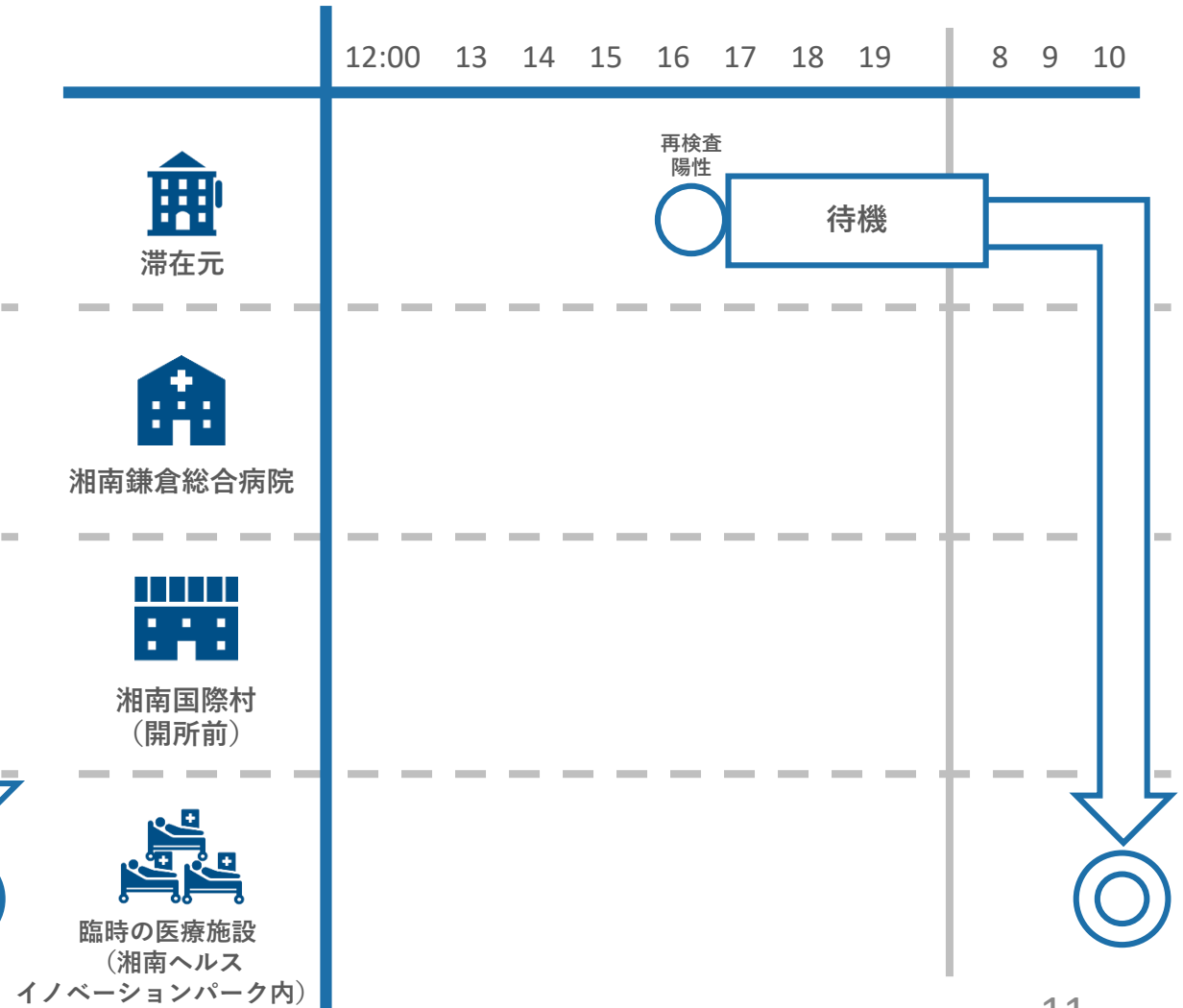


# 3-2 7/7までの人の流れ

## 通常フロー

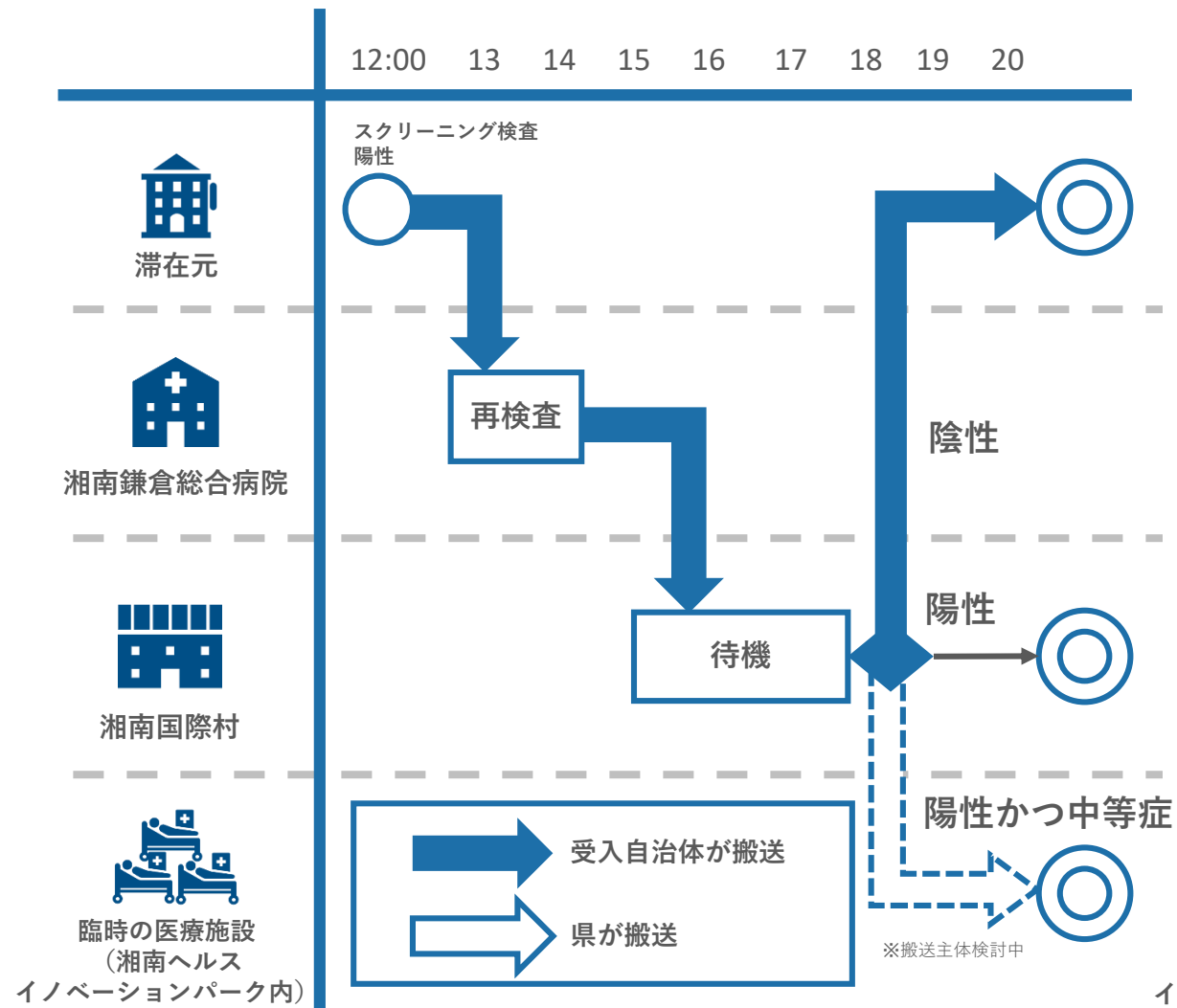


## 横浜市・英国選手団

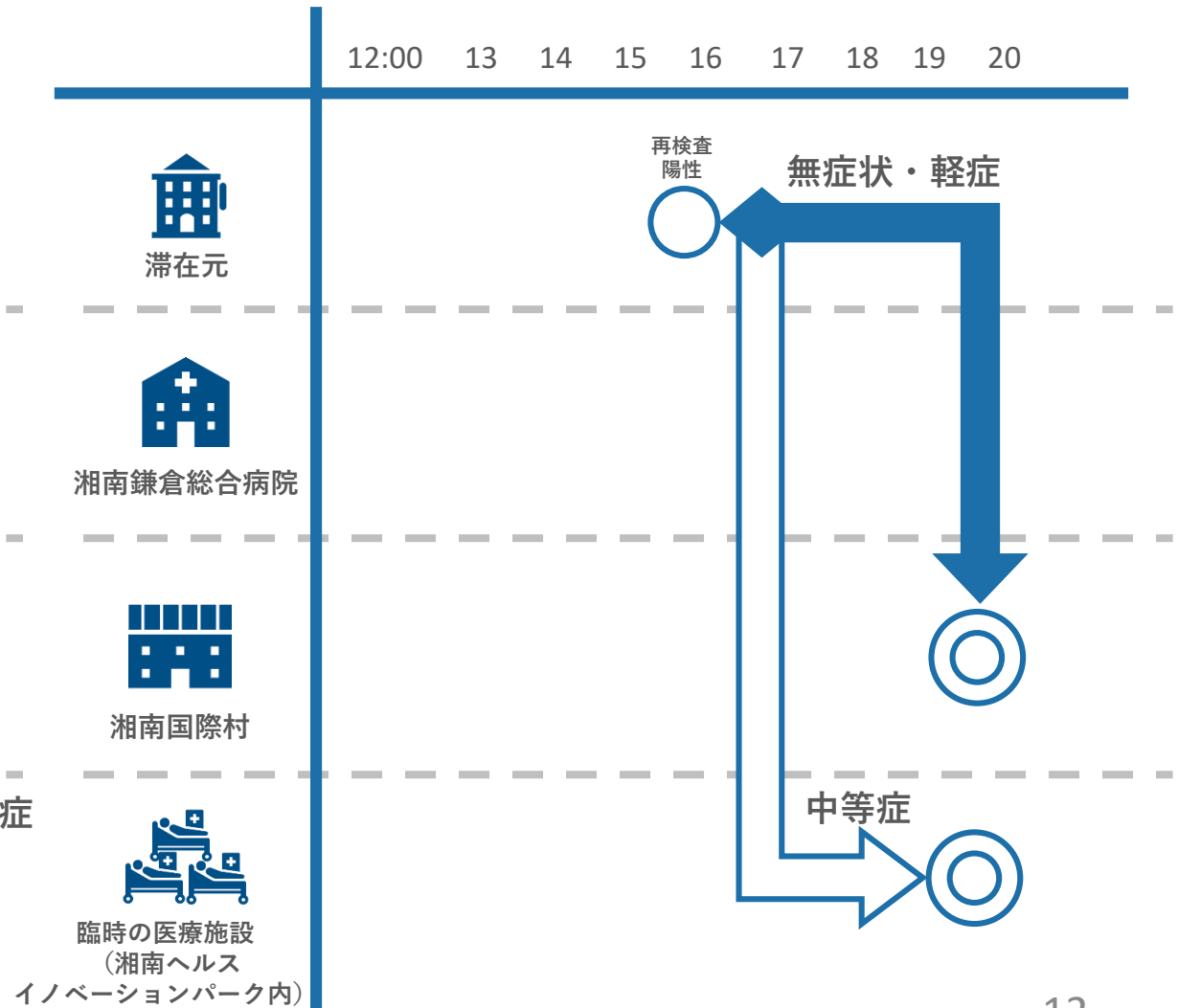


# 3 - 3 7/8からの人の流れ

## 通常フロー



## 横浜市・英国選手団

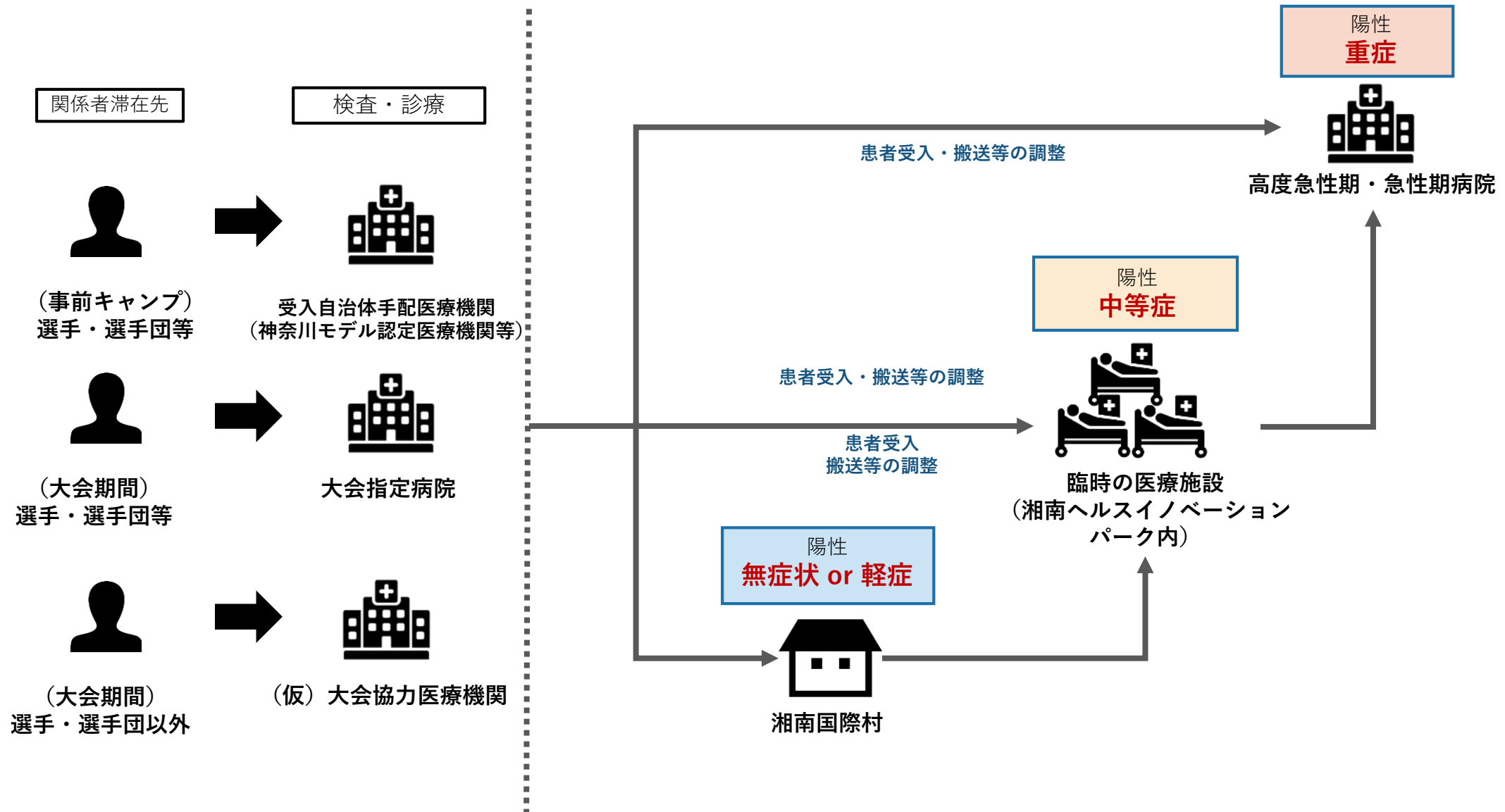




## 4 発症時の流れ

---

# 4-1 東京2020大会における神奈川モデル（発症時）



## 4-2 東京2020大会における神奈川モデル受診・入院療養受入先区分

期間	関係者区分	病症種別	受入自治体手配医療機関 (神奈川モデル認定医療機関等)	大会指定病院	(仮) 大会協力医療機関	コロナ陽性判定後受入先		
						臨時の医療施設 (湘南ヘルスイノベーションパーク内)	高度医療機関	湘南国際村
(受入自治体対応) 事前キャンプ	【1】	一般傷病患者 (コロナ以外・入院を含む)	○					
		有症状者 検査・診療	○					
		コロナ患者 (軽症)						○
		コロナ患者 (中等症)				○		
		コロナ患者 (重症)					○	
(組織委員会対応) 大会期間中	【1】	一般傷病患者 (コロナ以外・入院を含む)		○				
		有症状者 検査・診療		○				
		コロナ患者 (軽症)						○
		コロナ患者 (中等症)				○		
		コロナ患者 (重症)					○	
	【2~6】	一般傷病患者 (コロナ以外・入院を含む)		○				
		有症状者 検査・診療				○		
		コロナ患者 (軽症)						○
		コロナ患者 (中等症)				○		
		コロナ患者 (重症)					○	

# 抗原検査キットを活用した新たな 感染拡大抑制策の検討（配布用）

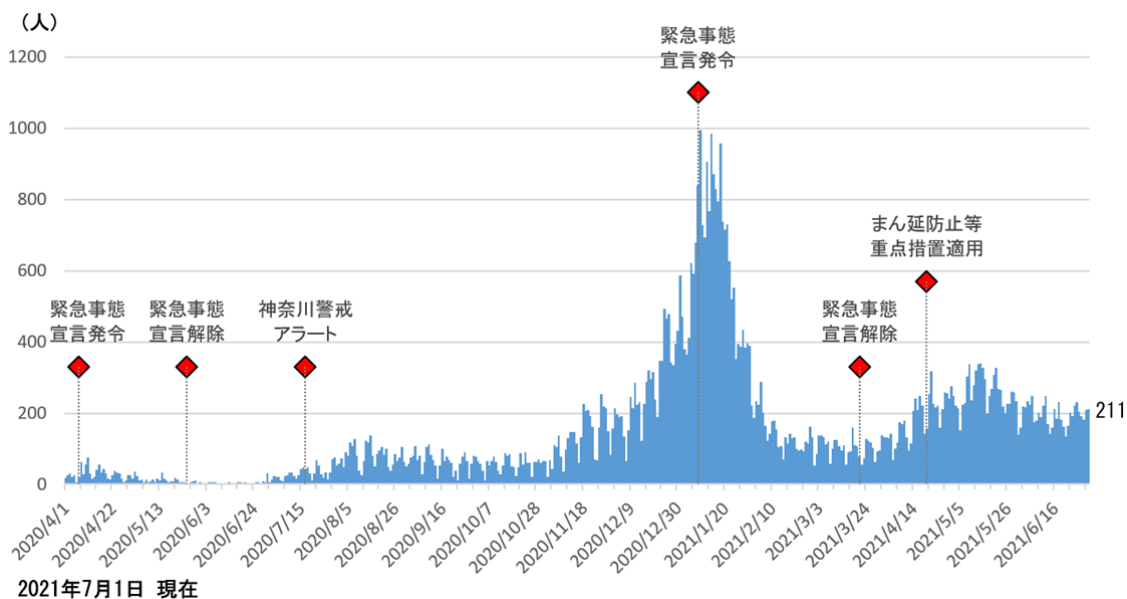
---

医療危機対策本部室

2021.7.2 ver.1

# 1 感染対策の現状と対応策の限界

## 新規感染者数の推移（人）



- 第4波、新規感染者数は下げ止まりから増加傾向が続いている
- 高齢者施設など向け定期PCR検査による施設向け対策は進む一方、**高齢者施設など向けPCR検査により施設向け対策は進んだ**
- 既にまん延防止等重点措置により**飲食店の営業制限**を行っているが、下げ切るには**十分な低減効果が出ているとは言えない**

- **患者数・クラスターが増え、長期化は精緻な積極的疫学調査を困難にする**
- **感染性が高い変異ウイルスの浸透が従前の常識的対応との矛盾が生じる**

**感染拡大を防止する「急所」のすり抜けがある状況で、  
「点」で押さえる戦略は限界を迎えつつある**

# 新規陽性患者数とクラスター未終結施設数

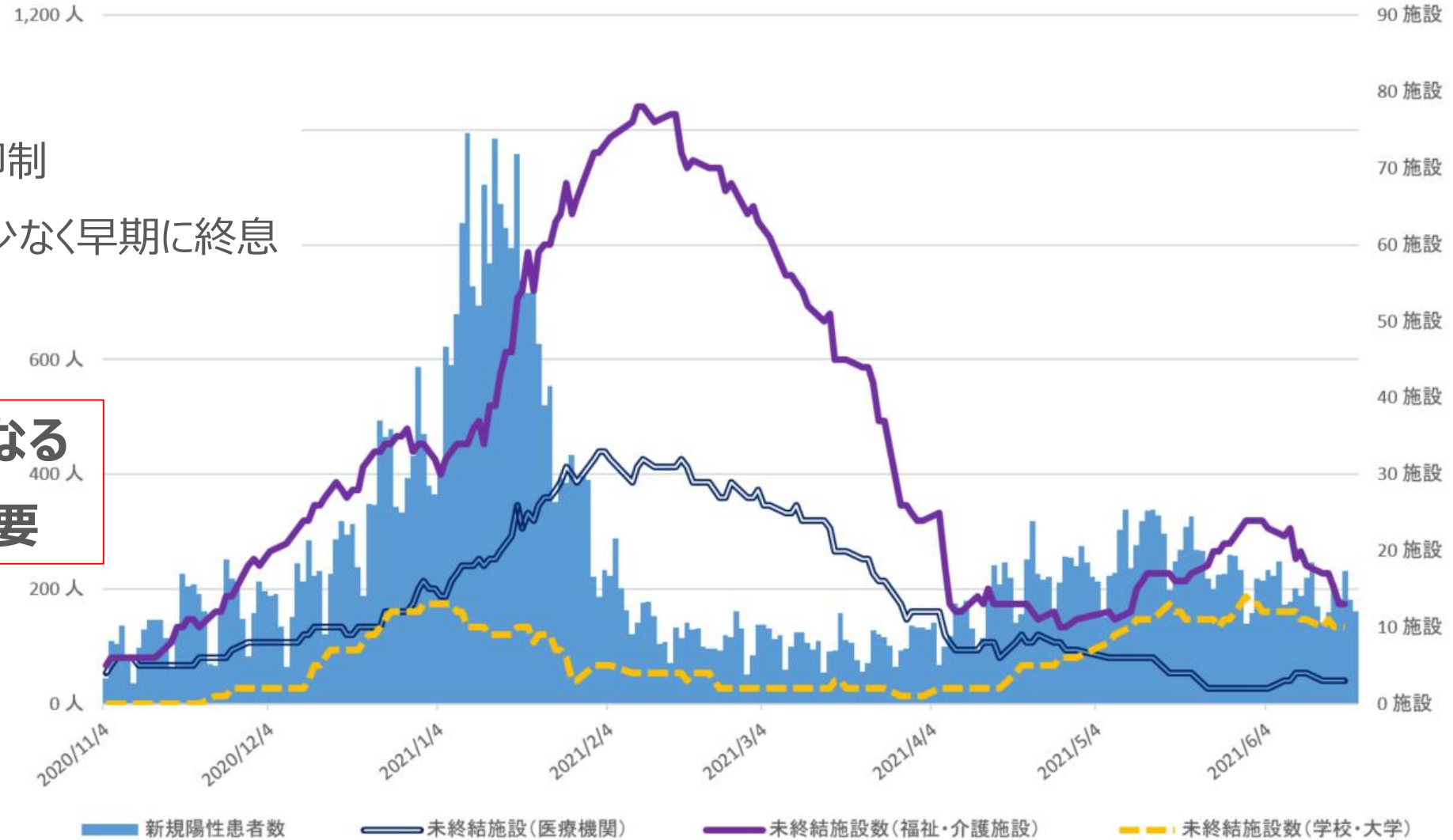
新規陽性患者数とクラスター未終結施設数

第4波は第3波と比して

# 医療機関クラスターはほぼ抑制

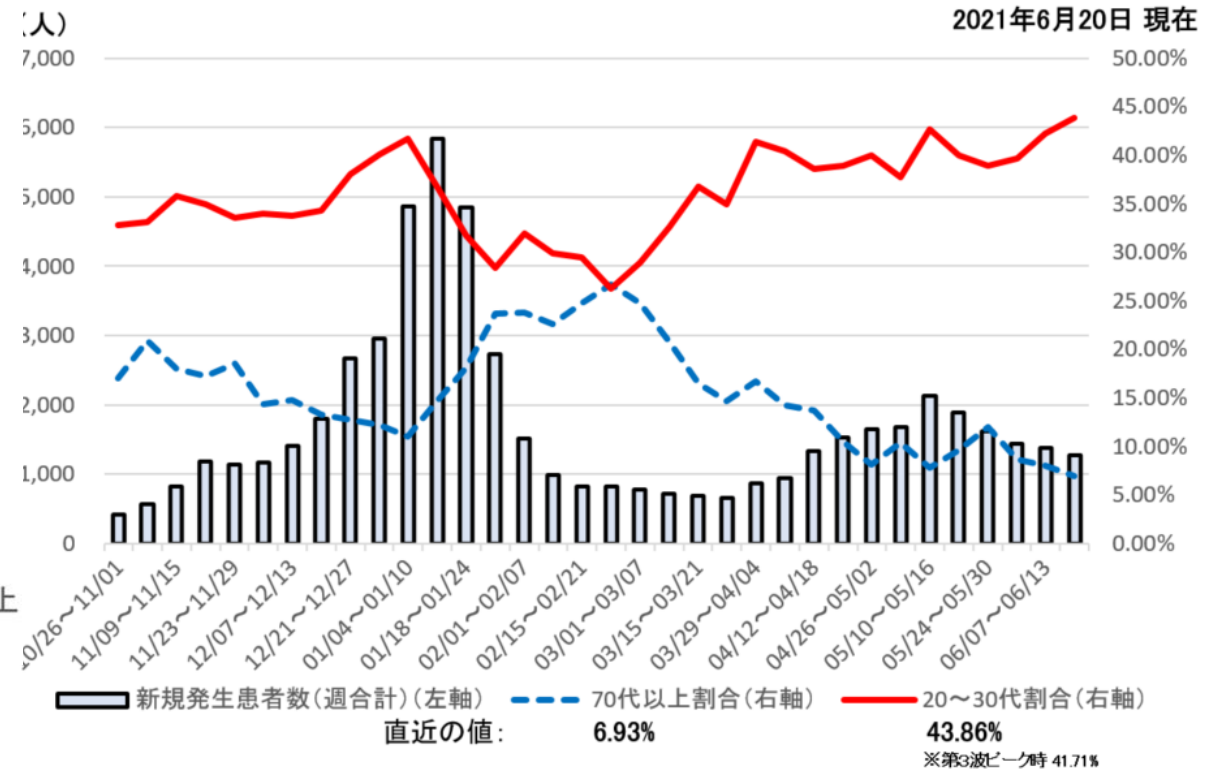
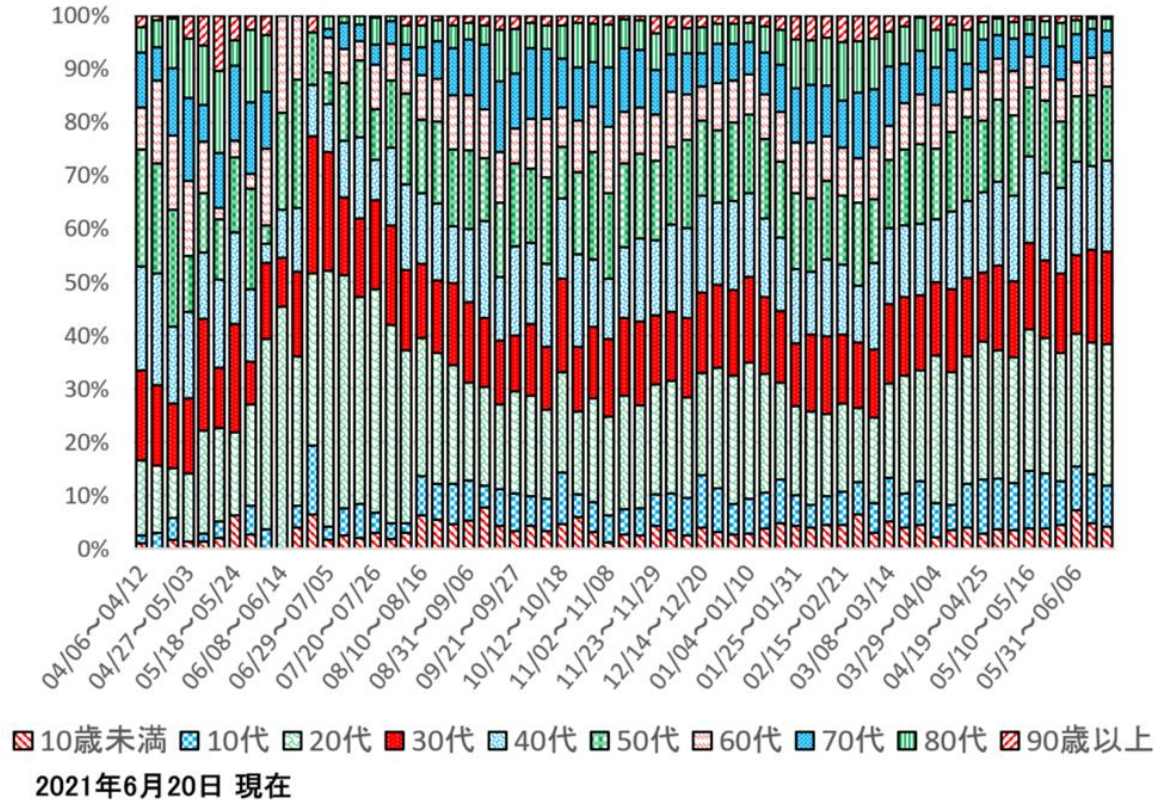
# 高齢者施設等クラスターは少なく早期に終息

病院、高齢者施設とは異なる  
ターゲットに対する対策必要



2021年6月20日 現在

# ターゲット世代転換に関わる施策を



20・30歳代、40・50歳代

の感染者比率が高い状態が継続している

**就学・就労世代をターゲットに対する対策必要**



## 2-1 神奈川県抗体検査の解析

### ① 市中の抗体保有状況調査

2021年1～3月に20歳以上の県内在住者のうち、**ランダム**に抗体検査を実施

$$\frac{\text{抗体保有者数}}{\text{検査数}} = \frac{17\text{人}}{1,404\text{人}} = \text{市中の抗体保有率 } \underline{1.2\%}$$

同時期の陽性者数は全県民の0.5%※

※県民約920万人に対する1～3月の陽性者数48,070人の割合

### ② 発熱等の有症状者の抗体保有状況調査

2021年3月に20歳以上の県内在住者のうち、**LINEパーソナルサポートにて発熱等の症状有り**と回答した者を対象として抗体検査を実施

$$\frac{\text{抗体保有者数}}{\text{検査数}} = \frac{87\text{人}}{703\text{人}} = \text{有症状者の抗体保有率 } \underline{12.4\%}$$

有症状者にはコロナ既往者が多いことが判明

## 2-2 神奈川県抗体検査結果への考察

抗体検査で判明した市中感染率 **1.2%** - 実際に判明した陽性者率 **0.5%**  
= **0.7%**が検査を受けずにすり抜けてしまっている

※県民約920万人に対する1~3月の陽性者数48,070人の割合

- 考えられる理由：
1. 症状が軽く、短期間であったため検査を受けようと思わなかった
  2. 検査を受ける（受けた）ことを理由に学校や職場を休むことに抵抗があった
  3. 医療機関等でPCR検査を受けることに抵抗があった

各個人が自宅でも軽度の症状を自覚した際に  
通勤・通学を控え、医療機関を受診しようとする仕組みが必要

### 3 方針・対応の転換

2020年以來実施してきた「点」「急所」に対する対応策

- 感染リスクが高い場・機会をターゲットとした施策（飲食店当）
- 患者発生周辺の周辺を公衆衛生学的手法で調査（積極的疫学調査）



社会へのウイルスの浸透を前提にした「面」での対応策

「いつでも・どこでも」の手軽さ

- 発病したらセルフチェック（抗原検査キット）
- 感染可能性が高い際（セルフチェックで陽性）の登校・出勤を思いとどまらせる
- 医療機関受診の心理的なハードルを下げる

# 4 抗原検査に係るLINEパーソナルサポート上でのアンケート

## アンケート画面

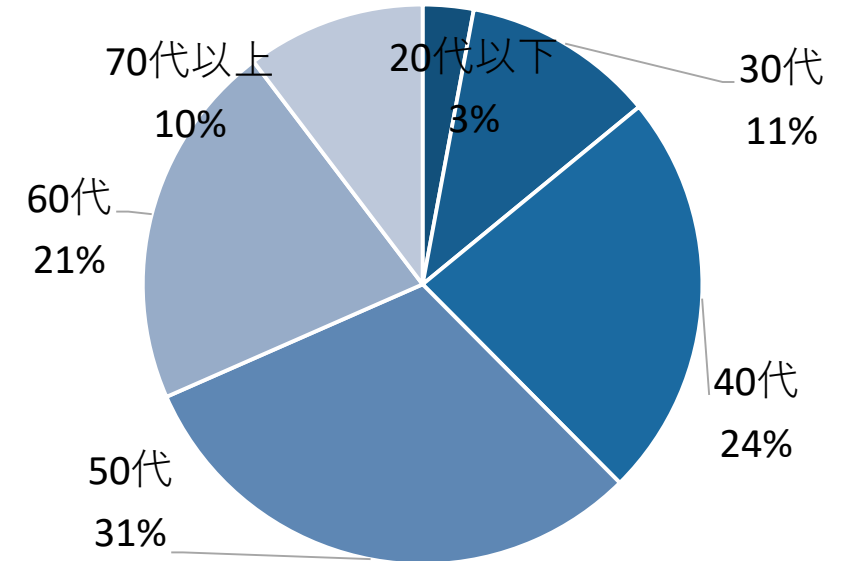


## 質問事項

問1	年齢
問2	有症状時に、PCR検査を受けるため医療機関を受診するか？
問3	有症状時に、通勤や通学を控えるか？
問4	「抗原検査」とは何か知っているか？
問5	自身や家族の有症状時に、抗原検査キットが手元があれば利用するか？
問6	問5の理由は？
問7	抗原検査キットで陽性が判明したら、医療機関を受診するか？
問8	抗原検査キットで陽性が判明したら、通勤や通学を控えるか？

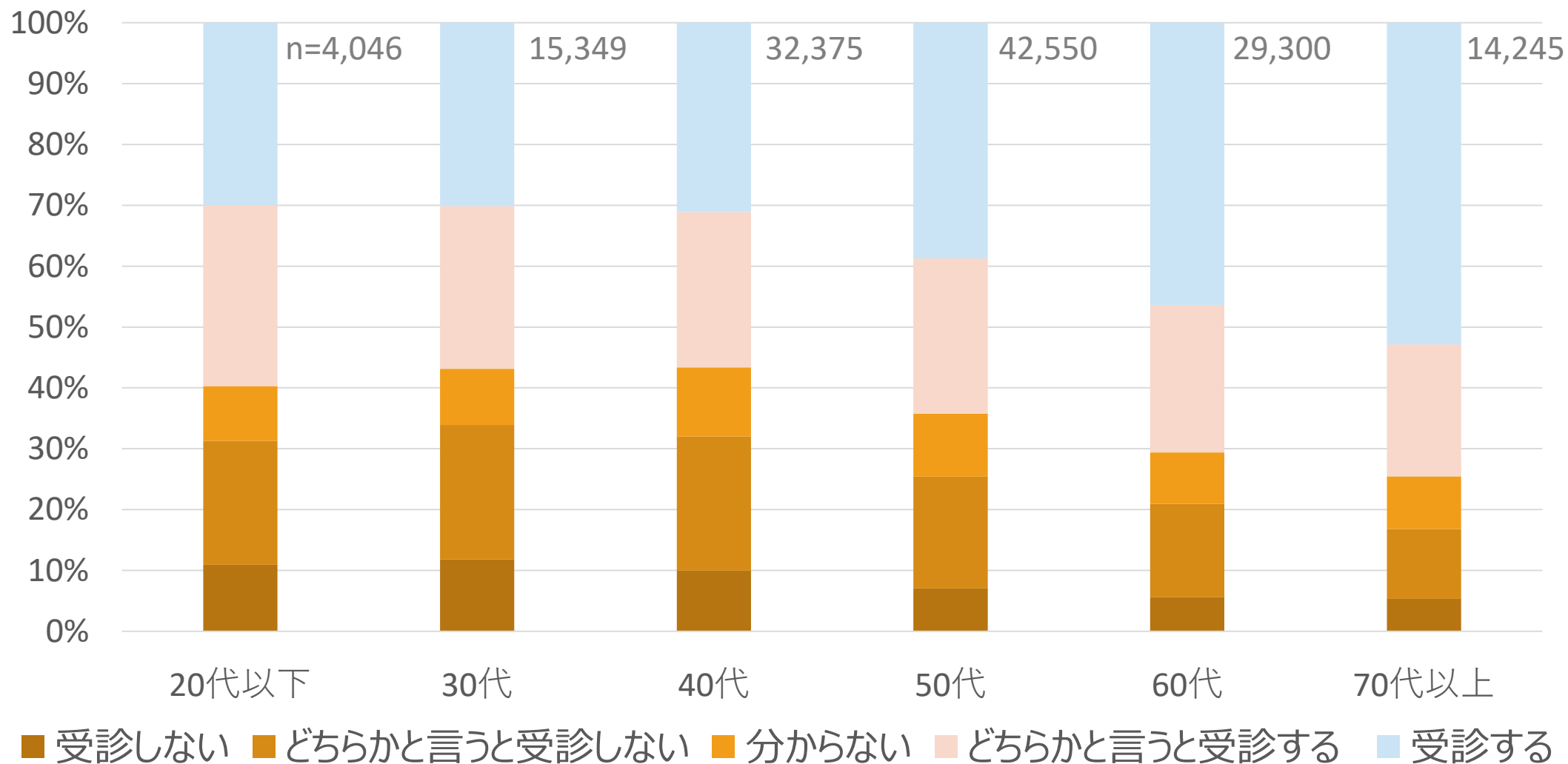
実施期間：2021年5月29日～6月1日

有効回答数：**137,865**件

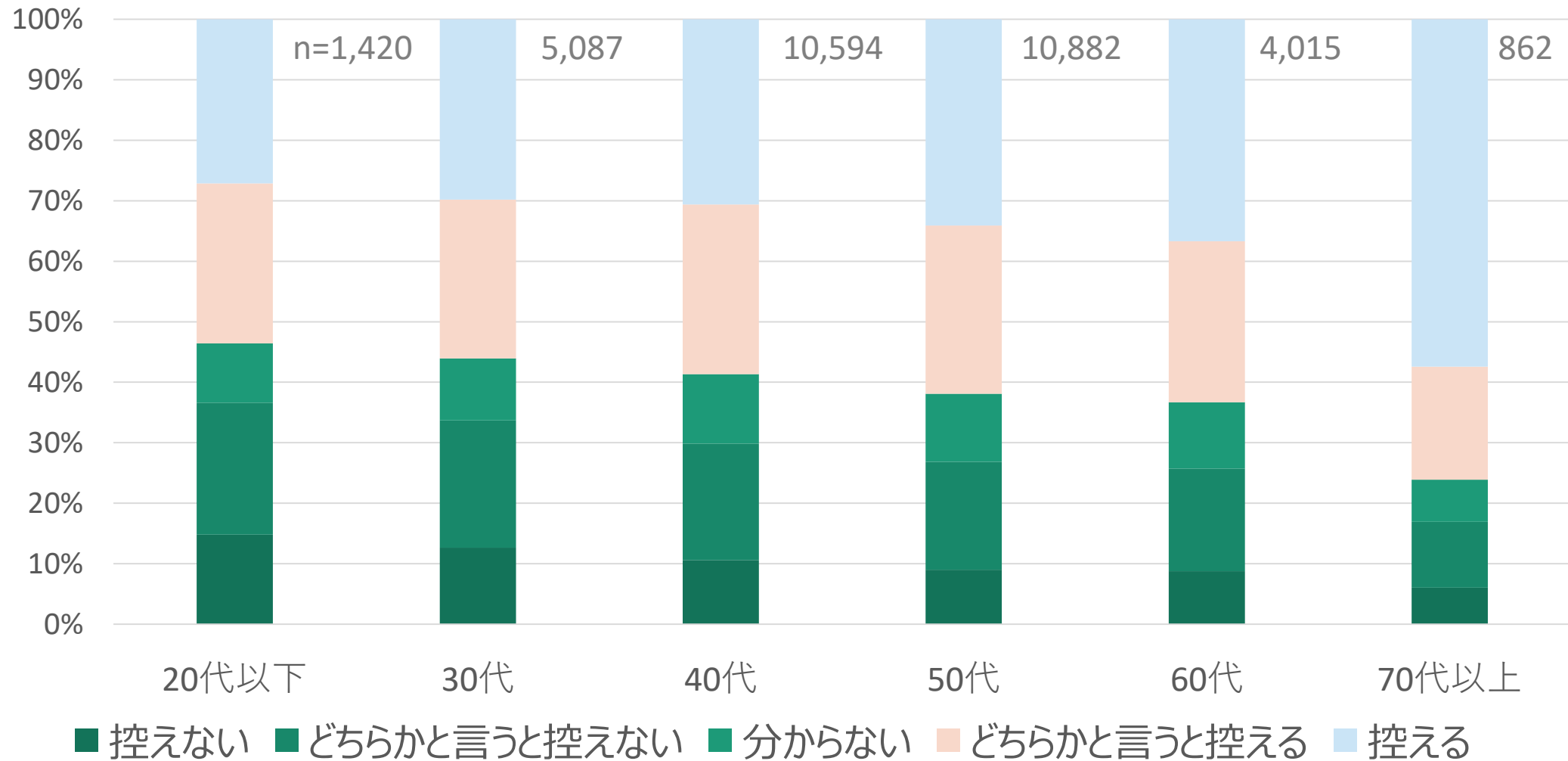


抗原検査キットを配布することで人々に行動変容を促せるかどうかのアンケートを実施

# 症状が出た場合に医療機関を受診するか ⇒40代以下では約4割が受診しない



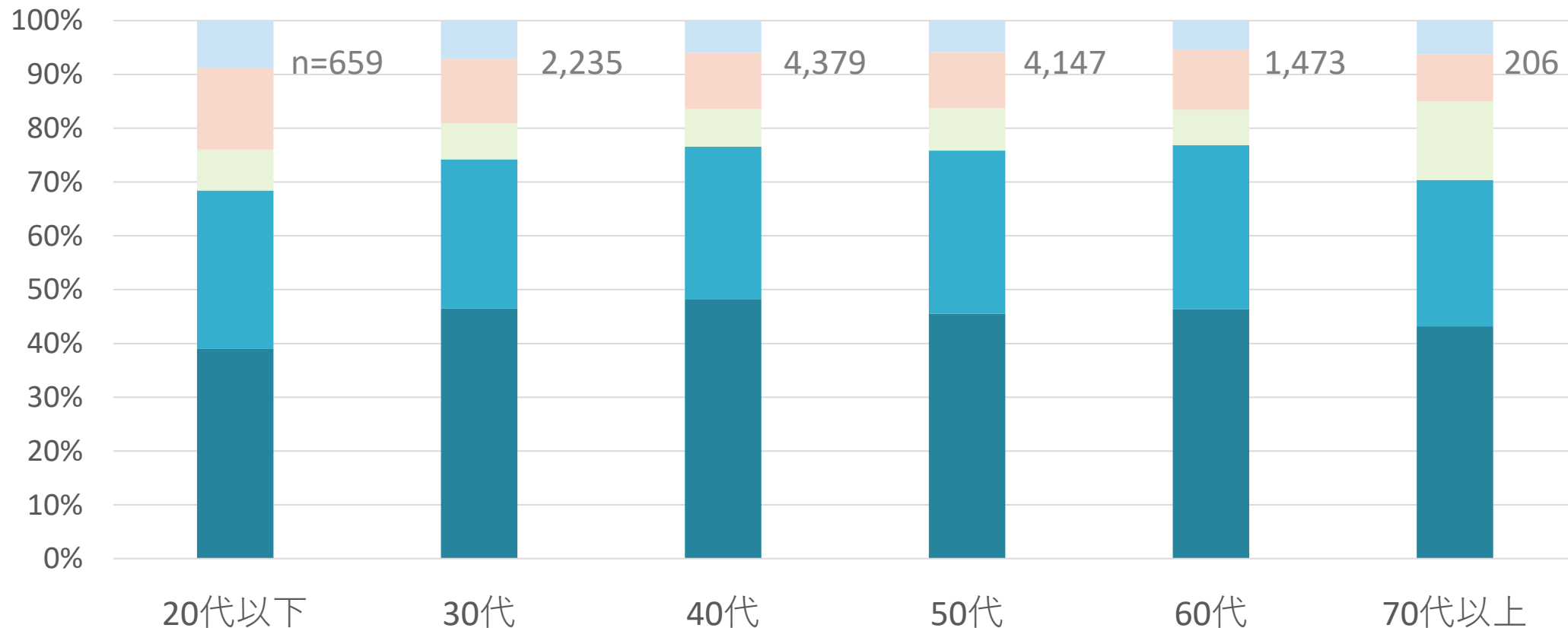
# 医療機関を受診しない人は通勤や通学を控えるか ⇒60代以下では4割前後が通勤や通学を続ける



\* 母数：症状が出た場合に医療機関を【受診しない、どちらかと言うと受診しない、分からない】と回答した人数

# 通勤や通学を控えない人は検査キットを利用するか

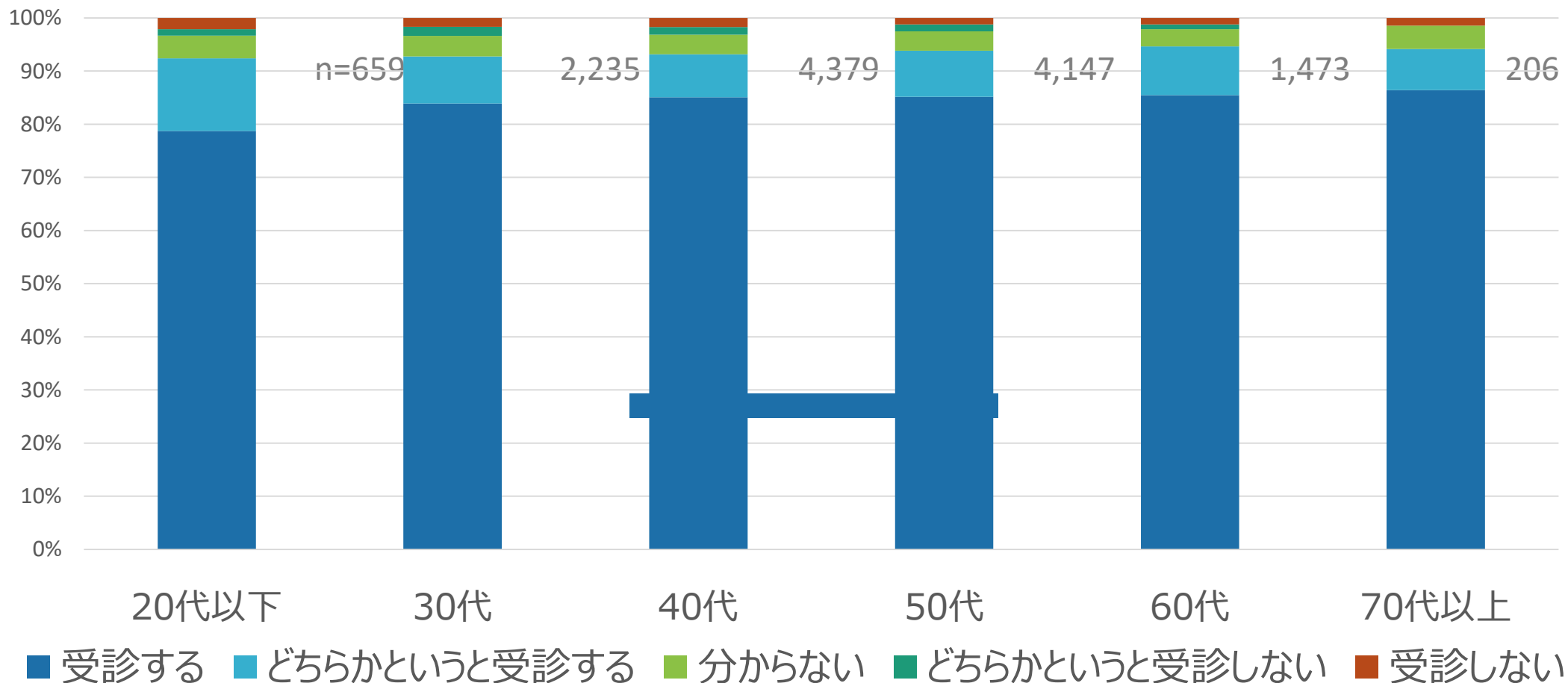
⇒全世代で7割前後（分からないを含めると8割前後）が利用



■ 利用したい ■ どちらかという utilization したい ■ 分からない ■ どちらかという utilization しない ■ 利用しない

\* 母数：症状が出た場合に医療機関を【受診しない、どちらかと言うと受診しない、分からない】と回答した人数のうち、症状が出た場合に通勤や通学を【控えない、どちらかと言うと控えない、分からない】と回答した人数

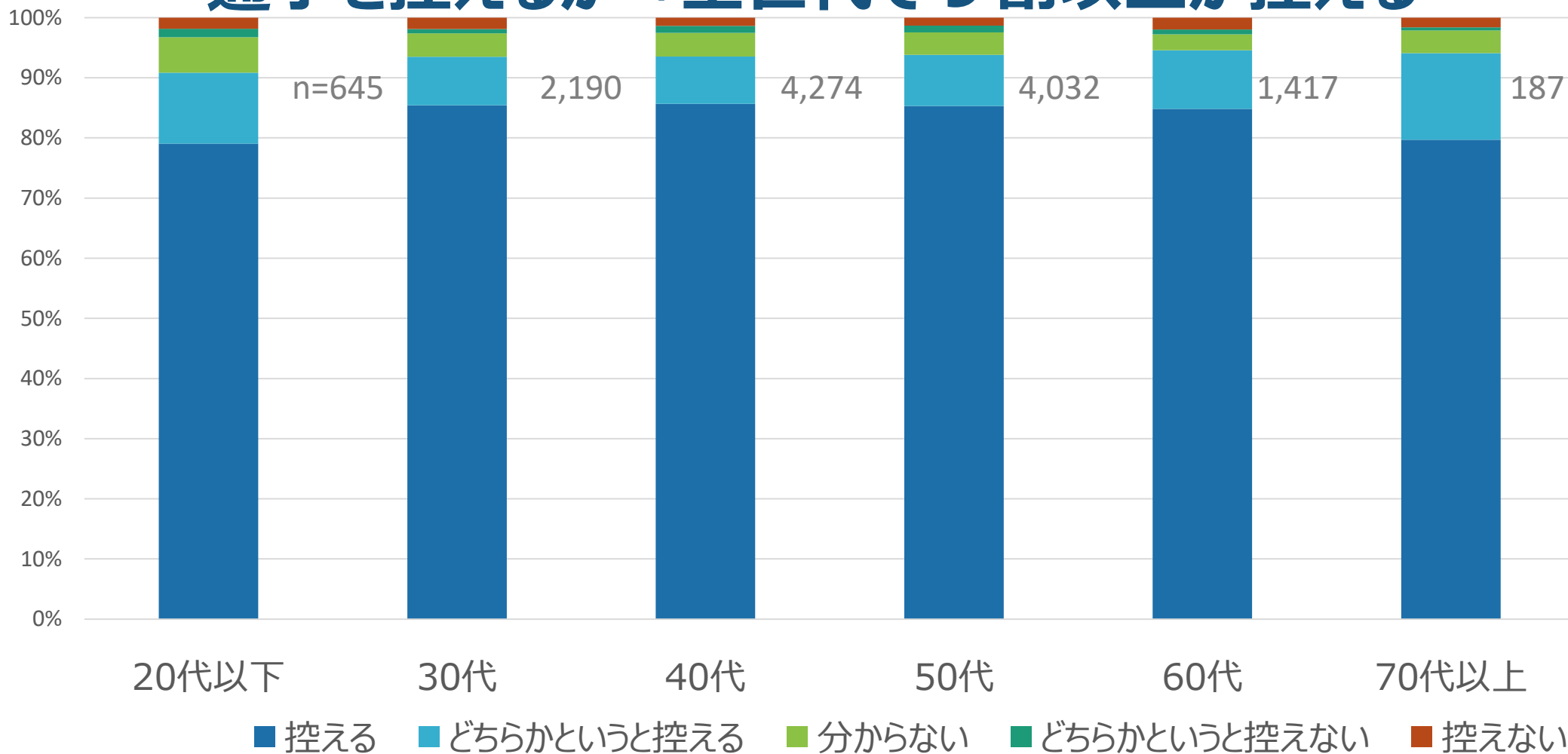
# 検査キットで陽性が判明したら通勤や通学を控えない人は 医療機関を受診するか⇒全世代で9割以上が受診する



\* 母数：症状が出た場合に医療機関を【受診しない、どちらかと言うと受診しない、分からない】と回答した人数のうち、症状が出た場合に通勤や通学を【控えない、どちらかと言うと控えない、分からない】と回答した人数



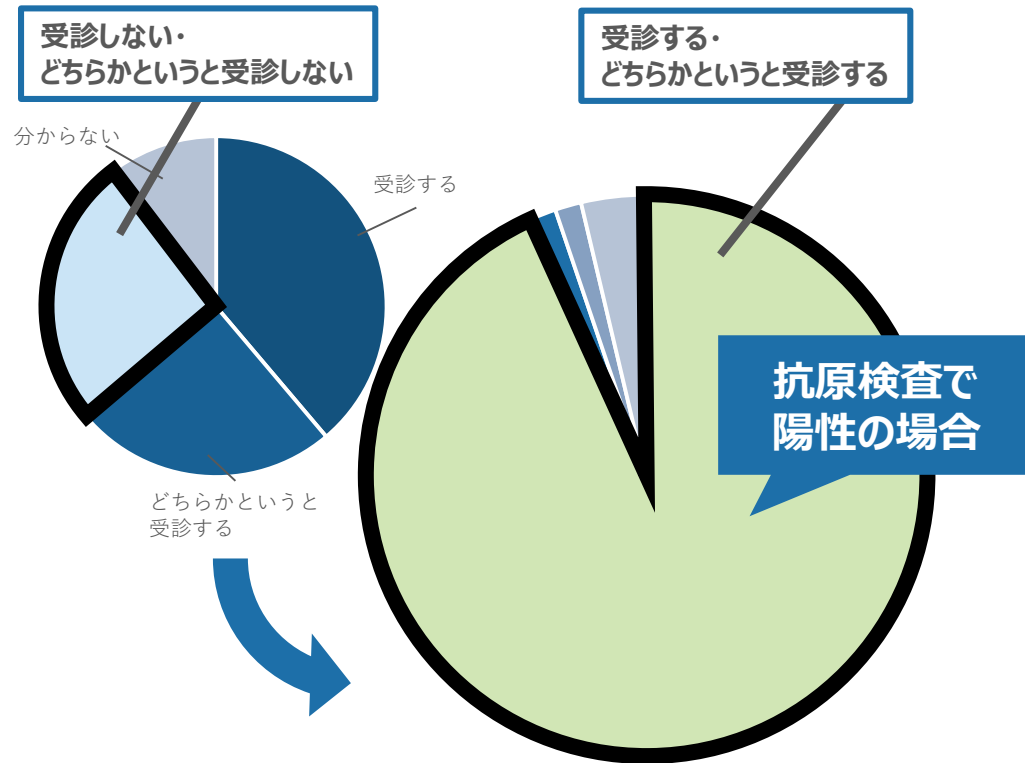
# 検査キットで陽性が判明したら通勤や通学を控えない人は通勤や通学を控えるか⇒全世代で9割以上が控える



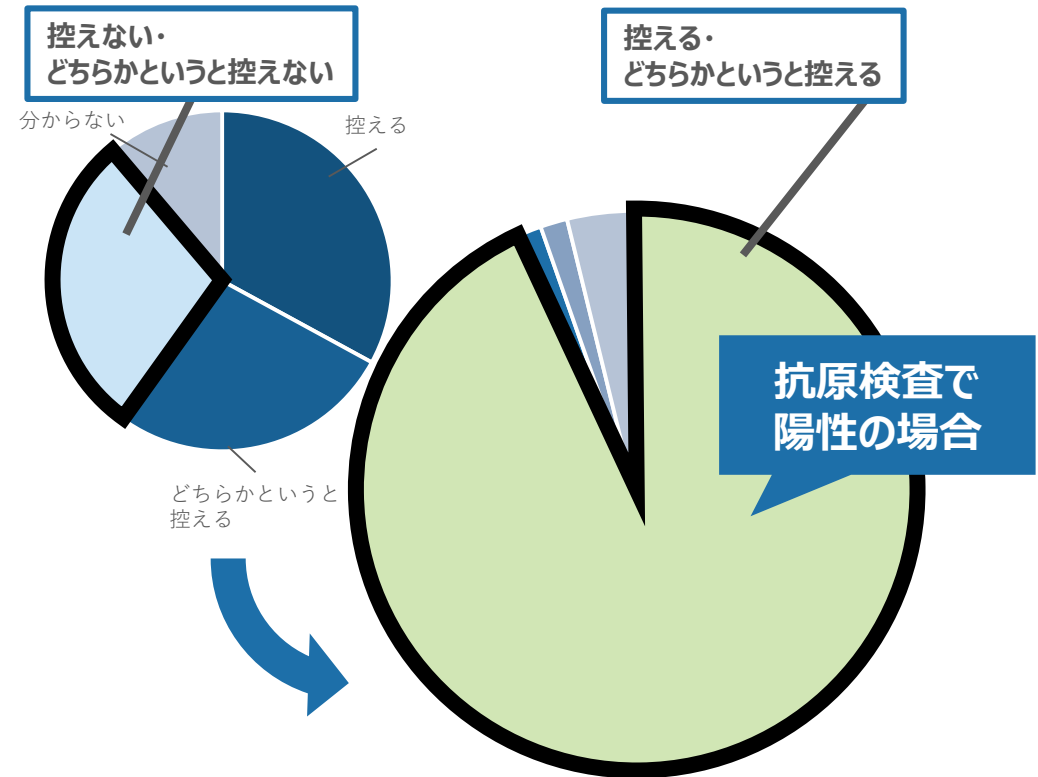
\* 母数：症状が出た場合に医療機関を【受診しない、どちらかと言うと受診しない、分からない】と回答した人数のうち、症状が出た場合に通勤や通学を【控えない、どちらかと言うと控えない、分からない】と回答した人数

# 抗原検査に係るLINEパーソナルサポート上でのアンケート

## 有症状時に、医療機関を受診するか？



## 有症状時に、通勤や通学を控えるか？



症状があっても医療機関を受診せず通勤通学を控えない人でも、抗原検査で陽性が判明すると9割以上が医療機関を受診し通勤通学を控えることが分かった

## 5 今後の課題 1 : ワクチン接種が一定程度進んだ際に生じる問題

1. ワクチン接種が一定程度進む

2. 既接種者による経済活動が活発化する

3. 感染が拡大する？



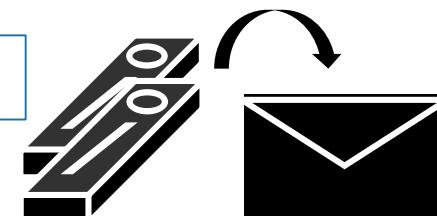
ワクチン接種が進んだ諸外国では、開放感から未接種者も感染対策を怠り始め、感染を拡大させたと思われる傾向が見られる

**ハイリスク行動を抗原検査キットでカバーできないか？**

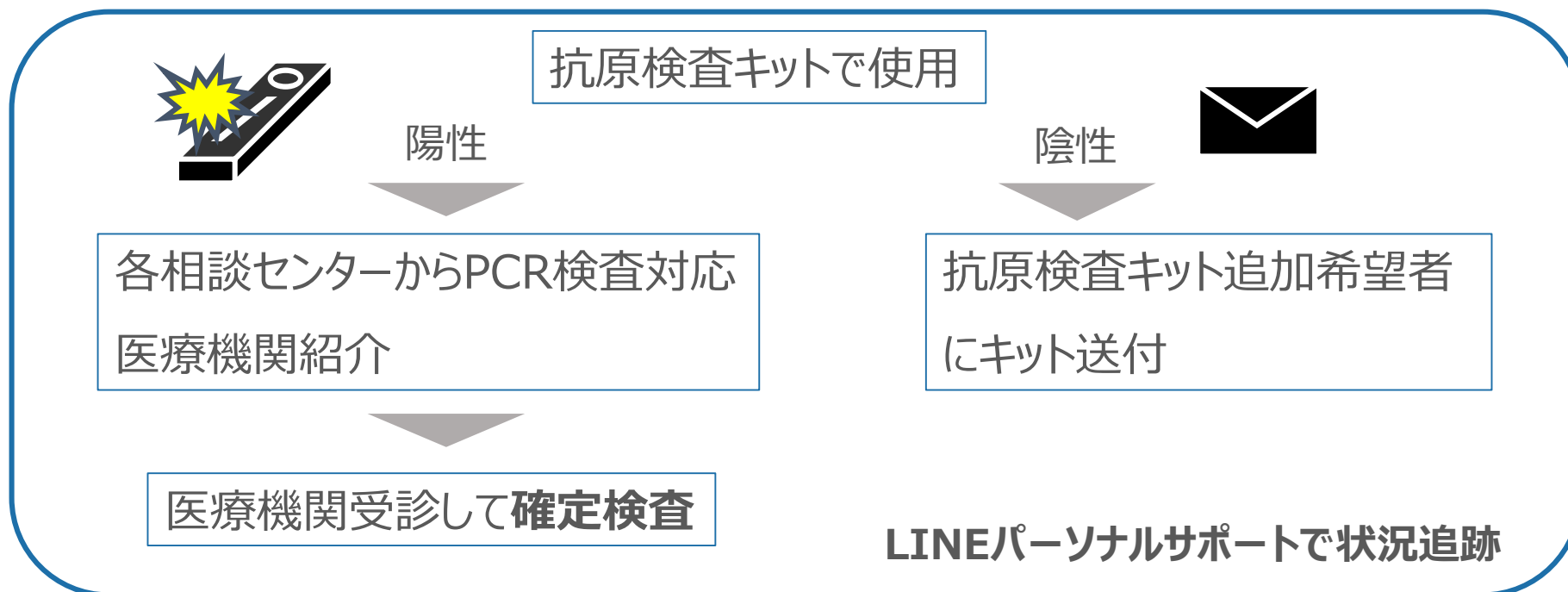
**(仮説) 抗原検査キットの配布は感染拡大の抑止に一定の役割**

## 6-1 ステップ1 パーソナルサポート上での配布

LINEパーソナルサポートアンケートで使用肯定者に対して配送（2キット1パック）



何らかの症状発現時



## 6-2 今後の進め方

### 確定検査体制確保

①抗原検査キットで陽性反応の患者の確定検査を実施可能な医療機関の**調査**

\* 発熱等診療医療機関1747のうち1147施設（65.7%）がPCR検査実施

②抗原検査キットにて陽性反応の場合に相談センター対応の仕組み

（相談センターは①医療機関（リスト化）を患者へ紹介）

### キット配布体制

①A社から抗原検査キット寄付

（+国の配布予定キット？）

②2キットずつ梱包

③LINEパーソナルサポートにて希望者の確認

④郵送先確認後、抗原検査キット配布

### 活用状況の把握

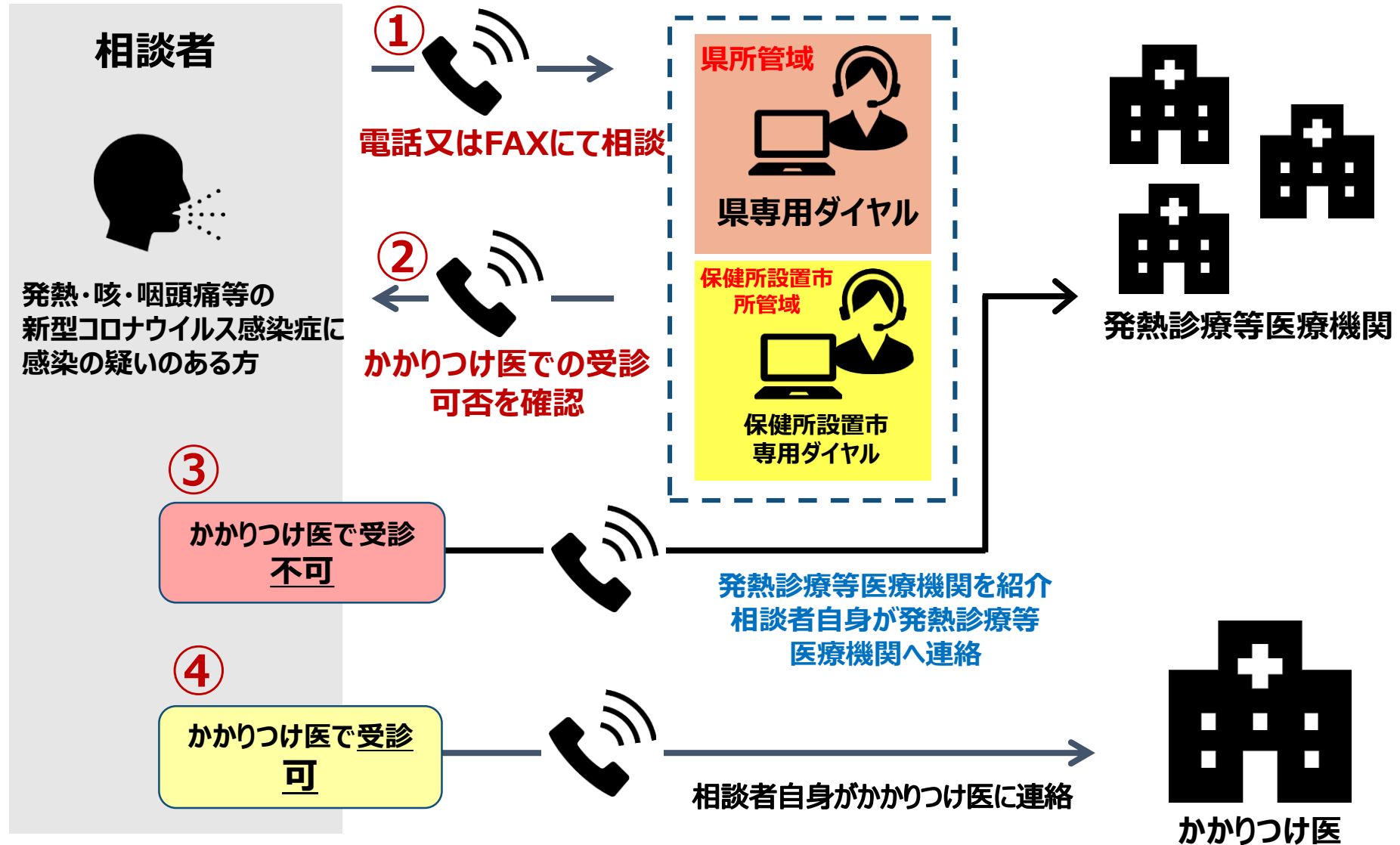
①LINEパーソナルサポートで使用状況

②陽性/陰性時の対応の誘導

③追加配布

# 一般的な受診フロー

## 発熱診療等医療機関と新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル



# 抗原検査キット陽性時の受診フロー

新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル通して確定検査へ

